目　次

第１講	青年期	（2012年度１）	p 2
		（2007年度１）	p 6
	現代の諸課題	（2009年度５）	p 10
第２講	源流思想	（2014年度追試２）	p 22
	日本思想	（2014年度追試３）	p 30
第３講	西洋近現代思想	（2013年度追試４）	p 46
		（2009年度４）	p 54
第４講	倫理総まくり①		p 68
第５講	倫理総まくり②		p 74
第６講	倫理確認テスト		p 78

第１講　青年期（2012年度１）

（解答番号 1 ～ 3 ）

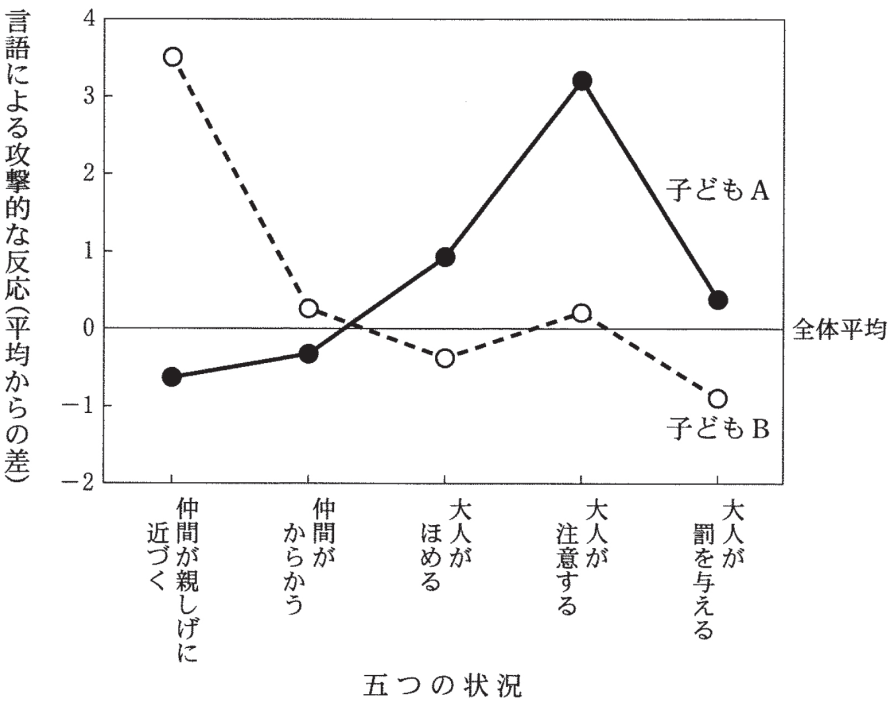
第１問　次の文章を読み，下の問い(問１～３)に答えよ。(配点　8)

あなたはどのような性格だろうか。そう聞かれても，簡単には答えられないかもしれない。これまでの自分について考えてみても，学校では明るく陽気だが，家では口数が少ないなど，ⓐ様々な状況を通じて一貫した考え方や行動を挙げることは容易ではないからだ。
自分の性格をどう捉(とら)えるかは，自分をどう認識するかということでもあり，自我同一性の確立と深く関連する。青年期は，多様な自己像が現れる時期であり，しばしばⓑ内面の混乱を伴う。状況によって行動が変わることは，そうした自己の揺らぎを一層意識させるため，戸惑いや抵抗を強く感じさせるかもしれない。

しかし，自我同一性の確立とは，どのような相手にも同じ行動をとれるようになることではない。むしろ，その場の状況や相手に合わせて柔軟に対応することは，環境にうまく適応した状態とも言える。状況に応じた行動の違いを受け入れ，多様な自己像を統合し，それを自分のⓒ性格として把握することは，自我同一性を確立するために必要な過程である。

問１　下線部ⓐに関連して，次ページの**図**は，児童福祉を目的とする非営利組織が小中学生を対象に行ったサマーキャンプにおいて，参加者一人ひとりの行動を観察した研究結果の一部である。この研究の目的は下線部ⓐでいう一貫性の有無を検討することであった。**図**は，キャンプ中に高い攻撃性が見られた二人の子どもについて，「仲間が親しげに近づく」などの五つの状況で，言語による攻撃的な反応(からかい，挑発，脅し)がどのくらいの頻度で観察されたかを表している。**図**の縦軸の数値は，キャンプの参加者全体の平均を０とし，そこからの差として攻撃的な反応の多さを示している。この図から読み取れることとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 1

図　各状況における子どもの攻撃的な反応



（注）　この研究では，小中学生 84 人の行動を 6 週間にわたって観察した。子ども一人に対する平均観察時間は 167 時間であった。

Shoda, Y., Mischel, W., & Wright, J.C., 'Intraindividual stability in the organization and patterning of behavior', *Journal of Personality and Social Psychology*, 1994 により作成。

① キャンプの参加者全体と比較したとき，子どもＡが攻撃的に反応するかどうかは状況に依存するのに対し，子どもＢの攻撃的反応はいずれの状況においても全体平均を下回っている。

② 二人の子どもはともに，相手との年齢が近いときより離れているときに攻撃的に振舞うが，年齢の近い相手への攻撃的反応の頻度は，子どもＡより子どもＢの方が高い。

③ 相手からほめられる状況と，注意や罰を受ける状況とで比較すると，子どもＡは前者よりも後者の二つの状況でいずれも攻撃的になるが，子どもＢにその傾向は見られない。

④ 高い攻撃性が見られた二人の子どもだが，取り上げられている五つの状況のなかで，全体平均からプラス１以上の攻撃的反応を示す状況は，子どもＡでも子どもＢでも限られている。

問２　下線部ⓑに関して，自我同一性の拡散を表す語句として**適当でないもの**を，次の①～⑤のうちから一つ選べ。［２］

① 通過儀礼(イニシエーション)
② 自意識の過剰
③ 否定的アイデンティティ
④ モラトリアム人間
⑤ ピーターパン・シンドローム

問３　下線部ⓒに関して，様々な研究者がこれまで唱えてきた性格の分類や特徴についての記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［３］

① リースマンは，他人の行動に照準を合わせて自己の行動を決定する性格を他人指向(志向)型と呼んだが，現代の大衆社会では，こうしたタイプはほとんど見られなくなったと主張した。
② クレッチマーは，性格と体型の関連を指摘し，リビドーが自己の内側に向きやすい分裂気質は肥満型に多く，リビドーが外界に向きやすい循環気質は細長型に多いと主張した。
③ シュプランガーは，人々の生活を方向づける様々な価値観を整理して，理論型，経済型，審美型，社会型，権力(政治)型，宗教型という六つの性格類型を主張した。
④ オルポートは，自己感覚の拡大，温かい人間関係の構築，情緒の安定，自己の客観視，人生哲学の獲得から構成される性格５因子(ビッグファイブ)理論を主張した。

〈***Note***〉

第１講　青年期（2007 年度１）

（解答番号 1 ～ 3 ）

第１問　次の文章を読み，下の問い（**問１～３**）に答えよ。（配点　8）

倫理は，人間としての生き方に深く関(かか)わっており，ⓐ人間のこころを科学的に扱う心理学と無縁ではない。古くからこころは哲学的な考察の対象とされていたが，実証に基づく科学としての心理学は，19 世紀に登場した。当時の心理学者たちは，こころを内観することによって意識を捉(とら)えようとした。意識をめぐって科学としての心理学が確立したのである。

これに対して，フロイトは，本人の意識していない欲求・葛藤(かっとう)・願望が，人のこころや行動に影響を与えていると考え，心理学にⓑ無意識の概念を導入した。その考え方は，ユングらの様々な理論に影響を与えた。

しかし，すべてを無意識のせいにするのは科学的ではないとして，観察可能な行動のみを取り扱おうとする行動主義の動きが起こった。

こうした流れをふまえて，現在の心理学では，行動を記録するなど方法論上の細かい工夫を通して，意識を捉え直すことが活発に行われている。ⓒ悩みの解決を援助するカウンセリングは，様々な心理学の応用の一例であり，倫理に求められている課題を具体的に実践しているものと言える。

問１　下線部ⓐに関連して，現在の心理学の目標を次の**ア**〜**オ**の五つに分ける考え方がある。このうち**ア**，**イ**，**オ**と，生活上の経験に関する事項**A**〜**E**との組合せとして最も適当なものを，下の①〜④のうちから一つ選べ。 **1**

ア　人間に生じたことの記述
イ　人間に生じたことの説明
ウ　人間に生じることの予測
エ　人間に生じることの制御
オ　人間に生じることを変えることによる生活の質の改善

A　交通違反をした者に対して点数減点制度を導入し，規定点数以下になったら免許停止とする。
B　各曜日１時間ごとに周辺の交通量調査を行い，これから行う工事の期間中の渋滞状況を考える。
C　公園内のどの遊具で子どもたちが遊んでいるかを調べるために，それぞれの遊具について一定時間内での利用回数を測定する。
D　様々な原因で欲求不満になったとき，スポーツなどで発散することを昇華と名づけて理解する。
E　電車の乗降で混雑する駅で乗客の流れがスムーズになるように，混雑時に専用通路を設ける。

① **ア**－**C**　**イ**－**D**　**オ**－**E**
② **ア**－**D**　**イ**－**B**　**オ**－**A**
③ **ア**－**E**　**イ**－**B**　**オ**－**C**
④ **ア**－**D**　**イ**－**A**　**オ**－**B**

問２　下線部ⓑに関して，フロイトが考えた無意識が現れる例として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

① 複雑な感情を抱いている相手の名前を，言い間違えてしまう。
② もう一度行きたいと思っている場所に，忘れ物をしてしまう。
③ 朝日が昇るのを見ると，誰(だれ)もが荘厳な感じを抱いてしまう。
④ 気掛かりなことがあると，何かに追いかけられる夢を見てしまう。

問３　下線部ⓒに関して，相容(あいい)れない動機の板挟みとなるとき悩みが生じることがある。次の動機の対立**ア**～**エ**と，具体例**A**～**D**との組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

ア　自立　対　依存
イ　親密　対　孤独
ウ　協力　対　競争
エ　衝動的表出　対　道徳的基準

A　親友の身の上話を聞いているうちについ感情的になり，途中で席を立ってしまったが，終わりまで冷静に聞く必要があったと後から考え，悩む。
B　昼休みに友人の話の輪に加わり仲良くしたいと思うが，一人で好きな本を読みながらリラックスしたいとも思い，悩む。
C　難しい数学の問題が宿題に出て，独力で解くのが望ましいとは思うが，勉強ができる友人に答えを聞く方が簡単であると思い，悩む。
D　テストの直前に，自分が苦労してまとめたノートを見せてくれとライバル関係にある友人に頼まれて，断ろうかどうかを考え，悩む。

① ア－C　イ－A　ウ－D　エ－B
② ア－B　イ－A　ウ－D　エ－C
③ ア－D　イ－B　ウ－C　エ－A
④ ア－C　イ－B　ウ－D　エ－A

〈***Note***〉

第１講　現代の諸課題（2009年度５）

（解答番号 31 〜 37 ）

第５問　次の文章を読み，下の問い（問１〜７）に答えよ。（配点　20）

正しい行為とは何か。この問いは，誰（だれ）が，どのような状況で発するのかによって，答えが変わり得る問いである。だからこそ，先哲は現代に至るまで，ⓐ誰の立場から見ても正しいと思える行為の原理やルールを発見しようとしてきた。

しかし，既存のルールが本当に正しい行為を命じているのかどうかを反省することなく，ただルールに従うことが正しいと考えられてしまったとき，悲惨な事態が生じることがある。例えば，ナチス・ドイツのファシズム体制のもとで，ユダヤ人を強制収容所に送る任務についていたアイヒマンは，第二次世界大戦後，ⓑ人道に対する罪などが問われた裁判のなかで，自分は法律に忠実に従い，自分に課せられた義務を果たしているということに疑いを抱かなかったと述べた。

大戦を経験した後，ⓒ個人を平等に尊重する社会の構成原理を見いだそうとする従来の試みのなかから，新たな傾向が現れた。それは，私たち一人ひとりが具体的な状況に目を向け，人々がⓓ現に感じている苦しみを和らげるために何ができるのかを考えようとするものである。心理学者のキャロル・ギリガンは，人と人との間にすでに存在している関係性のなかで他者を気遣うことや，他者との間に新しい関係を築こうとすることの道徳的重要性を説き，そのような倫理観をⓔケアの倫理と呼んだ。

ケアの倫理は，ⓕ家族における子どもと親といった，身近な関係のみにふさわしい倫理と考えられがちである。しかし，私たちは，そうした関係を越え，自分とは異なる状況におかれている人々の存在を想像することができる。皆が正しいと考えるルールに従っているとしても，それだけでは，他者からの必要な配慮が得られずに苦しみ続ける人がいるかもしれない。そのように問い直すことは，より広い社会のなかで様々な状況におかれた私たち一人ひとりに目を向けることの大切さを気づかせてくれる。だとすれば， A 。

問１　下線部ⓐに関連して，このようなルールを確立しようとした第二次世界大戦後の哲学者の一人にハーバーマスがいる。ハーバーマスの考え方についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

31

① 他者の権利を侵害しない限り，私たちの自由は平等に尊重されるべきである。ただし，自由競争によって生じる不平等については，社会において恵まれない立場にある者たちの生活を改善する限りで許される。

② 人は，互いに合意に至ることを可能にするような理性をもっている。したがって，そのような理性を対等な立場が保障されたうえで使用するならば，万人が同意することができる社会のルールを発見できる。

③ 人は，互いの自由や財産を権利として尊重するべきだというルールを理解できる理性をもっている。そして，各人の自由や財産をより確実に保障するために，合意のもとに政府を設立する。

④ 自己利益だけでなく，万人に共通する利益が第一に考えられるべきだという一般意志が存在する。そして，それを強制するルールに基づく社会を築けば，個人の権利と自由は保障される。

問２　下線部ⓑに関連して，第二次世界大戦後，国家や軍の非人道的な行為を防ごうとする努力が重ねられている。そのような国際社会の試みに関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

32

① 1990年代に地雷禁止国際キャンペーンが始まり，オタワ条約が結ばれたが，軍事大国のアメリカ合衆国やロシア連邦などは批准していない。

② 1990年代にルワンダ内戦などで犯された罪を裁くために，臨時の国際刑事裁判所が設置されたが，常設の国際刑事裁判所はまだ設置されていない。

③ 非人道的な兵器の使用を防ぐために国際社会は努力しているが，化学兵器については同意が得られず，国際条約はまだ採択されていない。

④ 東西冷戦下では，核を保有することで戦争を抑止できるとする議論が盛んであったが，現在では保有国における核兵器製造は禁止されている。

問３　下線部ⓒに関して，あらゆる人びとが平等に尊重されるための取組の例として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

① 国際連合教育科学文化機関憲章(ユネスコ憲章)は，第二次世界大戦において被災した子どもを救援することを目的とし，児童と青年が個人として生活するための十分な社会整備がなされるべきだと宣言している。

② 世界人権宣言は，第二次世界大戦後に諸国民の友好関係の発展を奨励し，世界のすべての人が，人種，皮膚の色，性，宗教などによって差別を受けることなく，生まれながらに平等であることを主張している。

③ 児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)は，子どもたちの完全で調和のとれた発達を促すために特別な保護を与える必要性を認識し，子どもへの差別を禁じ，その自由と権利を実現することを宣言している。

④ 女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女子差別撤廃条約)は，社会と家庭における伝統的な性別役割を変更することも，男女の完全な平等を達成するためには必要であると主張している。

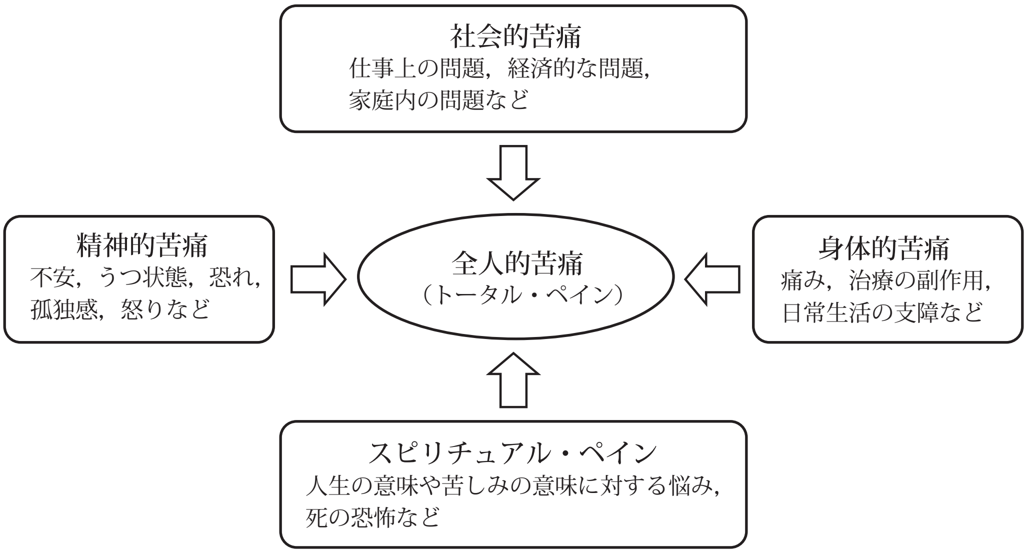
問４　下線部ⓓに関連して，世界保健機関(WHO)は，次のように緩和ケアを定義した。その定義における苦痛については，**図**のような説明が考えられる。**定義**と**図**を踏まえたうえで，緩和ケアの考え方として**適当でないもの**を，下の①～④のうちから一つ選べ。 34

定　義

緩和ケアとは，生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して，疾患の苦痛，身体的問題，精神的問題，社会的問題，スピリチュアルな(霊的な，魂の)問題に関して，早期からきちんとした評価を行い，それが障害とならないように予防したり，対処したりすることで，クオリティー・オブ・ライフ(生活の質，生命の質)を改善するためのアプローチである。

(世界保健機関Webページ)

図



① 緩和ケアは，末期治療に限定されるものではなく，治療の過程に生じる様々な苦痛を和らげようとするアプローチである。

② 緩和ケアが改善しようとしているクオリティー・オブ・ライフには，患者本人だけでなく，患者をとりまく家族の生活の質も含まれる。

③ 緩和ケアという考え方は，患者が感じている苦痛を分類し，ケア・スタッフが，患者の身体的苦痛に集中して治療できるようにする。

④ 緩和ケアという考え方は，治療の間に変化する患者のニーズにこたえるために医療従事者と患者のコミュニケーションを重視している。

問５　下線部ⓔに関して，次の文章※は，ギリガンがエイミー（11歳女）とジェイク（11歳男）の二人に行ったインタビューを分析したものである。その分析のなかで，ギリガンは，エイミーの責任感にケアの倫理が典型的に表れていると考えた。次の文章も参考にしつつ，ケアの倫理の説明として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **35**

※この部分につきましては，著作権の都合上
掲載することができません。

① ケアの倫理によれば，私たちには他者との関係性が大切なので，他者に対する危害を禁止するような一般的なルールが存在する。
② ケアの倫理によれば，人は生きるためにお互いに配慮し合うべき存在であるから，積極的に他の人々を気遣わなければならない。
③ ケアの倫理によれば，私たちは自分の行為が人を傷つけることがあり得ることを認識し，他者に干渉することは避けなければならない。
④ ケアの倫理によれば，私たちが他者を頼りにするのは当然であり，そのことによって他者が傷つくかもしれないとまでは考えなくともよい。

問６　下線部ⓕに関連して，現在の日本社会における家族のあり方に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 36

① ライフスタイルに関する考え方が多様化し，家族構成員同士が性別にとらわれず世話し合う傾向が高まったので，一世帯あたりの家族構成員数は増加傾向にある。

② 「人は女に生まれない。女になるのである」という言葉に表れている意識が広く浸透し反省を促したので，夫も妻と同じように家事・育児を担うようになっている。

③ 男性に比べ女性は，結婚や育児を理由に仕事を辞める者の割合が依然高いが，子が成長するにつれて，パートタイム労働者として再就業する者が多い。

④ 男女共同参画社会基本法の施行以降，女性の労働者が増加した結果，夫婦どちらかの親と同居し，親に家事などを分担してもらう傾向が高まっている。

問７　本文の趣旨を踏まえて， A に入れる記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 37

① 正しいとされている行為のルールは，私たちの身近な人間関係を問い直す機会を与えてくれ，より公平な家族関係を築く可能性をもっている。

② 正しいとされている行為のルールは，公平な社会という原理には問題があるとして，社会をより親密な関係へと作り変える可能性をもっている。

③ ケアの倫理は，私たちが現在築いている関係には問題があるとして，人と人の密接な関係を批判的に問い直す可能性をもっている。

④ ケアの倫理は，私たちが正しい行為のルールに従っているだけでは不十分であるとして，社会を批判的に問い直す可能性をもっている。

第１講　解答

青年期（2012年度１）

問１ 1 ④　問２ 2 ①　問３ 3 ③

青年期（2007年度１）

問１ 1 ①　問２ 2 ③　問３ 3 ④

現代の諸課題（2009年度５）

問１ 31 ②　問２ 32 ①　問３ 33 ①

問４ 34 ③　問５ 35 ②　問６ 36 ③

問７ 37 ④

〈***Note***〉

第１講　総まくり○×テスト

青年期

青年期とアイデンティティの確立

1　ハヴィガーストは，複数の社会集団や文化の周辺の境界線上にて，そのいずれにも属さない人をマージナル・マン〔境界人・周辺人〕と呼んだ。

2　エリクソンは，青年の自己探求のための時間を心理･社会的モラトリアムと呼んだ。

3　ルソーは『エミール』の中で青年期の精神的な自己の目覚めを「心理的離乳」とした。

4　自分が何者であるかを知り，自分自身を確信することを通過儀礼〔イニシエーション〕という。

5　青年期によくみられる，他人と比較して自分が劣っていると思い悩むことを「劣等感」という。

精神分析・自己実現・生きる意味

1　２つの相反する欲求が対立し，精神的に板挟みになることを葛藤〔コンフリクト〕という。

2　精神分析学者ユングは，『精神分析学入門』『夢判断』を著した。

3　性の衝動〔リビドー〕が蓄えられた部分で，快楽原則に支配される，とされるのはエス〔イド〕である。

4　本能的な欲求を社会的に認められた価値ある目標に向け満たす防衛機制を「合理化」という。

5　ユングは，すべての人間の心の底にある集合的無意識の普遍的な型を元型〔アーキタイプス〕と名づけた。

6　マズローは欲求の５段階説を提唱し，その最終段階を自己実現の欲求とした。

7　フロムは，歴史的に自由を獲得してきた人間が，束縛からの自由がもたらす孤独や不安に耐えきれずナチスの全体主義に吸収される心理を『自由からの逃走』に著した。

8　クレッチマーは，人間の性格を外向型と内向型の２類型に分けた。

9　学校に行かず，仕事もせず，職業訓練もしていない人をニート〔NEET〕といい，この言葉はイギリスで最初に使われた。

10　フランクルは，アウシュヴィッツ収容所での体験をもとに『夜と霧』を著した。

11　オランダの歴史家ホイジンガは，遊びが文化をつくりだすとし，人間を「ホモ・ルーデンス〔遊戯人〕」と定義づけた。

現代の諸課題

生命倫理

1　山中伸弥教授らの京大研究チームが，世界で初めてiPS細胞〔人工多能性幹細胞〕のマウス実験に成功した。

2　自分の死のあり方について，生前にあらかじめ意思を表明しておくことを「インフォームド・コンセント」という。

3　1997年に臓器移植法が制定されたが移植が進まないため，などの理由で2006年に改正され，生前の本人の意思が不明でも，家族の同意があれば移植が可能となった。

4　本人の生前の意思にもとづいて，治療の見込みのない末期患者に対し延命措置をやめ，自然な死を迎えさせることを尊厳死（＝消極的安楽死）という。

環境倫理

1　一定地域に住む生物群とそれを取り巻く無機的な環境とがつくりだす関係の総体的なシステムを生態系〔エコシステム〕という。

2　1962年，アメリカのレイチェル＝カーソンは『沈黙の春』を出版し，生態系の破壊を警告した。

3　アメリカの経済学者ボールディングらが提唱し，1960年代に一般化した言葉が「かけがえのない地球」である。

4　1972年，スウェーデンのストックホルムで国連人間環境会議〔地球サミット〕が開催された。

地域社会と家族

1　一組の夫婦と未婚の子，または一組の夫婦のみの家族を核家族という。

2　現在の日本は「超高齢社会」である。

3　すべての人が社会で生きていけるよう，環境を整備し共生することをバリアフリーという。

4　国連女子差別撤廃条約の批准をうけ，男女共同参画社会基本法が1985年に制定された。

5　自己の意志で自発的に，報酬・見返りを求めず行う活動をボランティア〔社会参加〕という。

情報社会

1　大量のメッセージを不特定多数の人々に伝達する情報媒体を，マス・メディアという。

2　社会の情報化により発生した，関連機器やサービスを利用する能力の格差を，デジタル・デバイドという。

国際化と多文化共生・人類の福祉

1　先進国政府による発展途上国への経済開発のための援助をOECDという。

2　自民族の文化や価値観のみを正統と考え，多民族の文化に対し否定的・抑圧的・敵対的な態度をとる思想傾向を，文化相対主義という。

3　発想や行動が型にはまっていて独創性がないことを，ステレオタイプという。

4　サイードは，西洋人の無知や誤解にもとづく一面的な中東・東洋への理解をオリエンタリズムと呼び，批判した。

5　アマーティア＝センは，人間の潜在能力〔ケイパビリティ〕の開発と発展を説き，1998年にアジア人初のノーベル平和賞を受賞した。

第１講　○×テスト　解答

青年期とアイデンティティの確立

1　×（ハヴィガースト→レヴィン）　2　○

3　×（心理的離乳→第二の誕生）

4　×（通過儀礼〔イニシエーション〕→自我同一性〔アイデンティティ〕）

5　○

精神分析・自己実現・生きる意味

1　○　2　×（ユング→フロイト）　3　○　4　×（合理化→昇華）

5　○　6　○　7　○　8　×（クレッチマー→ユング）　9　○

10　○　11　○

生命倫理

1　○　2　×（インフォームド・コンセント→リヴィング・ウィル）

3　○　4　○

環境倫理

1　○　2　○　3　×（かけがえのない地球→宇宙船地球号）

4　×（スウェーデンのストックホルム→ブラジルのリオデジャネイロ）

地域社会と家族

1　○　2　○　3　×（バリアフリー→ノーマライゼーション）

4　×（男女共同参画社会基本法→男女雇用機会均等法）　5　○

情報社会

1　○　2　○

国際化と多文化共生・人類の福祉

1　×（OECD→ODA）

2　×（文化相対主義→自文化中心主義〔自民族中心主義・エスノセントリズム〕）

3　○　4　○　5　×（ノーベル平和賞→ノーベル経済学賞）

第２講　源流思想（2014年度追試２）

（解答番号 11 ～ 19 ）

第２問　次の文章を読み，下の問い（問１～９）に答えよ。（配点　24）

勉強していて，こんなことを知って何か意味があるのか，と思ったことはないだろうか。実は，それは大事な疑問である。先哲たちは，知るということに，よく生きるうえで深い意味があることを，我々に知らせてくれるのである。

かつて中国で実施された科挙では，合格のために ⓐ儒教の経典を暗記することが必要とされた。しかし，その経典の一つには「知ることが難しいのではない，行うことが難しいのだ」と記されている。ⓑイスラーム教でも，クルアーン（コーラン）を学んでアッラーの意志や命令を知り，それを社会生活において実践しなければならないとされる。知ることは，実践のきっかけになるのであり，そこから，どう実践するかについて考えることの重要性も浮かび上がってくる。イエスが律法学者たちを批判したのは，彼らが律法を形式的に適用して，貧しさなどのため ⓒ律法を守ることができない人々を，罪人扱いしたからである。律法を知っていると言うのなら，弱い立場の人々と関(かか)わるなかで律法の根底にある神の愛の教えを実践すべきだ，とイエスは考えたのである。知ることは，ⓓ社会のなかでいかに他者とともに生きるかを考えることにつながらねばならないだろう。

一方，いかに他者とともに生きるかを考えようとするならば，自分のあり方についても考える必要がある。古代ギリシアには，世の中で生きていくうえですぐに役立つ ⓔ知を求めて，ソフィストに学ぶ人々がいた。しかし，ⓕソクラテスは，「本当に善く生きるとはどういうことか」という，より根本的な問いをソフィストに対して投げかけた。そうした対話は，人々に無知の自覚と，自分のあり方の問い直しを促すものであった。煩悩から完全に逃れる道を知ろうと出家した ⓖブッダも，自分のあり方についての問いを掘り下げたと言えるだろう。そして，独立した確固たる自分が存在するという考え方自体が無知の産物であり，その無知が煩悩の根本であると悟ったのである。ⓗ自分のあり方について考えることで，知の求め方も大きく変わるのだ。

このように，知ることは，様々に考えを深めるきっかけとなり得る。せっかく先哲の思索に触れたのである。単に知識を増やして終わりにはせず，自分と他者との関わり方や，自分のあり方について，考えてみてほしい。

問１　下線部ⓐに関連して，次の文章は，儒家の思想に対する他の思想家からの批判についての記述である。［ a ］［ b ］に入れる人名の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 11 ］

［ a ］は，儒家の礼や仁を人為的なものとして批判し，それらが必要ない社会こそ理想であると説いた。一方，［ b ］は，儒家の仁政という考え方を批判し，法による信賞必罰の仕組みでなければ統治はできないと説いた。

① **a**　韓非子　**b**　墨　子
② **a**　韓非子　**b**　老　子
③ **a**　墨　子　**b**　韓非子
④ **a**　墨　子　**b**　老　子
⑤ **a**　老　子　**b**　韓非子
⑥ **a**　老　子　**b**　墨　子

問２　下線部ⓑに関して，イスラーム教の唯一神アッラーについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 12 ］

①　一切を超越した神であり，いかなる偶像によっても表すことはできない。この神は，モーセやイエスの説いた神と同じであるとされる。
②　神は全知全能で，人間に審判をくだす。そして，最後の審判において，死んだ人間をすべて復活させ，天国に入れるとされている。
③　一切を超越した神であり，彫像によって表すことはできない。ただし，神の肖像画のみは認められており，これがイコンと呼ばれる。
④　神は全知全能で，人間に審判をくだす。そして，この審判を一千年ごとに行い，正義を確立するとされる。

問３　下線部ⓒに関して，律法と罪についてパウロが記した次の文章※を読み，その内容を踏まえて，パウロの思想についての記述として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **13**

※この部分につきましては，著作権の都合上掲載することができません。

① 律法を守ることで人間が本当に救われるわけではない。人間は，既にキリストへの信仰により救われて，罪から完全に解放されているので，もはや自らの罪深さに苦しむことはない。

② 律法は人間に本当の罪とは何かを教える。人間は，律法で定められた罪に陥らないために，貧しい者や病気の者に金品を施す等の，具体的な行動によって神の愛を表さねばならない。

③ 律法を守ることで人間が本当に救われるわけではない。人間は，律法によっては，悪をなすほかない自らの罪を知るだけであり，律法ではなく，キリストへの信仰によって救いに至る。

④ 律法は人間に本当の罪とは何かを教える。人間は，十字架につけられて死んだキリストと同様，他者の贖罪のために自らを犠牲にすることで，律法の根底にある神の愛を実践することができる。

問４　下線部ⓓに関連して，知ることと社会的実践との関係についての記述として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **14**

①　ムスリムは，ジハードを義務づけられている。ジハードとは，聖典を通して知られる神の意志に基づいて，神の定めた正義を世界に広めようと奮闘することである。

②　王陽明は，朱子学を知性偏重であると批判して，知ることは行いの始めであり，行いにより知ることが完成する，と説いた。この考え方は居敬窮理と呼ばれ，社会を導く知識人が実践すべきものとされる。

③　ガンディーは，自らの政治運動において「真理把持」を意味するサティヤーグラハの理念を掲げた。そこで重視されたのが，仏教やジャイナ教でも共通して説かれたアヒンサー（不殺生）の実践である。

④　プラトンは，『国家』において，知恵の徳をそなえた哲学者が，防衛者階級・生産者階級を治めることを理想の統治のあり方とした。この体制は哲人政治と呼ばれる。

問５　下線部ⓔに関連して，「すべての人は自然本性上知ることを欲する」という言葉から始まるアリストテレスの著作として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **15**

①　『省察』

②　『形而上学』

③　『自省録』

④　『クリトン』

問６　下線部ⓕに関して，自らの知をめぐって，ソクラテスがどう考えていたかの説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

① 自分に何一つ知恵はないが，人間にとって最善のことだけは知っている，と自覚していた。
② 自分が知者だと思い上がらないために，知っていても知らないふりをするべきだと考えていた。
③ 自分は大切なことについて知らないので，そのとおりに，知らないと自覚していた。
④ 知らないと知っている以上，自分はすべてを知っていることになると考えていた。

問７　下線部ⓖに関して，ブッダの教えを表す四つの命題である「四法印」についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

① 「諸法無我」とは，それ自体で存在するような不変の実体は何もない，という教えを指す。また「一切皆苦」とは，一見楽しそうなことも含め，この世の現実のすべては苦しみにほかならない，という教えを指す。
② 「諸行無常」とは，あらゆる行為は常に変転し続けるので，苦行にも意味はない，という教えを指す。また「涅槃寂静」とは，我執を断った安らぎの境地へと至ることが理想である，という教えを指す。
③ 「諸法無我」とは，ブッダのもろもろの説法は，すべて「我などない」という一つの真理を表している，という教えを指す。また「一切皆苦」とは，心のなかの煩悩が一切の苦しみの原因である，という教えを指す。
④ 「諸行無常」とは，すべてのものは常に変転し続け，とどまることはない，という教えを指す。また「涅槃寂静」とは，聖典に定められた様々な祭祀（さいし）の執行を通して解脱に至るべき，という教えを指す。

問8　下線部ⓗに関連して，次の**ア**～**ウ**は様々な思想や宗教における，知の位置づけについての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，下の次の①～⑧のうちから一つ選べ。 **18**

ア　アウグスティヌスは，哲学を「神学の侍女」と位置づけ，信仰の追求には不要であると述べている。

イ　孟子は，自分や他人の正しくない点を恥じて憎む心を養い育てていくことで，四徳の一つである智を実現できると主張している。

ウ　大乗仏教において，六波羅蜜という六つの実践徳目の一つに位置づけられている「智恵」は，迷いを離れ真実を悟る働きのことである。

①	**ア** 正	**イ** 正	**ウ** 正
②	**ア** 正	**イ** 正	**ウ** 誤
③	**ア** 正	**イ** 誤	**ウ** 正
④	**ア** 正	**イ** 誤	**ウ** 誤
⑤	**ア** 誤	**イ** 正	**ウ** 正
⑥	**ア** 誤	**イ** 正	**ウ** 誤
⑦	**ア** 誤	**イ** 誤	**ウ** 正
⑧	**ア** 誤	**イ** 誤	**ウ** 誤

問9　本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを，次の①〜④のうちから一つ選べ。 **19**

① 知るということは，単に知識を増やすというだけではなく，生活のあり方，他者との関わり方，ものの見方を根本から考え直し，自らのあり方についても考えを深める契機となり得る。その際には，自分は，何を，どのように知ろうとしているのか，ということを考える姿勢が必要となるだろう。

② 実践できてこそ，知識は意味をもつ。したがって，まずは社会生活と密接に関わる物事について知ろうとするべきである。そして，人々とともに生きていくために役立つ知識を得てそれを実践し，全体の利益につながるように，自分のあり方を反省することが重要である。

③ 知るということは，自分についての考え方を深めることだけではなく，社会についての考え方を深めることにもつながる。社会のなかで，自分の正しいあり方について知ることにより，我々は社会問題の原因が何なのかを正確に把握して，解決法を見いだすことができるようになるだろう。

④ 実践できてこそ，知識は意味をもつ。したがって，まずは今ここで自分にできることは何か，を知ることが肝心である。自分の能力の限界を超えたことまでできると考えることは思い上がった傲慢(ごうまん)なことであり，むしろ，自分のあり方について疑いを抱く態度が必要である。

〈 ***Note*** 〉

第２講　日本思想（2014 年度追試３）

（解答番号 20 ～ 28 ）

第３問　次の文章を読み，下の問い（問１～９）に答えよ。（配点　24）

人は，個であると同時に，一人では生きられない。そのため，自己の生き方を考えるとき，他者とどのように共同して生きるのかという問いが生まれる。こうした問題は，日本ではどのように考えられてきたのだろうか。

古代，人々は，神々を祀（まつ）ることで村落共同体の繁栄を願った。共同体の繁栄によって，幸せが得られると考えたのである。大陸から伝来したⓐ仏教も，国家という共同体に安泰をもたらすものとして受け止められた。だが，仏教はまた，人はみな煩悩に苦しむ存在であり，自己の救済と他者の救済は結び付いているという教えをもたらした。その教えに基づき，最澄は他者を救う力を求めて山岳修行に努めた。自他の救済という課題は，後のいわゆるⓑ鎌倉新仏教にも引き継がれていく。例えば，一遍は，広く人々に念仏をすすめ，ともに往生することを目指した。

江戸時代には，儒学者は，人倫関係を軽視するものとしてⓒ仏教を批判し，親子や主従など日常的な人間関係に関心を向けることを主張した。例えば，伊藤仁斎は，身近な人との共同のあり方として，ⓓ儒学の孝悌忠信という教えに注目した。一方，ⓔ国学者は，儒学や仏教を外来の教えとして批判した。彼らは古（いにしえ）の日本人に，外来の教えに縛られることなく，固有の文化や言語を共有して生きる，理想の共同のあり方を見いだしたのである。

近代になり，西洋文明を受容した啓蒙思想家は，個人が自覚的に国家の担い手となる新たな国造りを目指した。福沢諭吉は，「一身独立して一国独立す」と述べ，日本の対外的な独立には，学問による一人ひとりの独立が必要であると説いた。しかし，富国強兵を目指すⓕ急速な近代化のなかで，例えば，平民主義を唱えた徳富蘇峰が，徐々に国家主義的主張に転じていったように，国家重視の傾向が強くなっていく。こうした状況のなかで，高まる社会的不平等を批判し，ⓖ貧しい人々や女性など社会的弱者の救済を訴える者もいた。さらに敗戦後には，ⓗ戦時期への反省から，個人が尊重される，新たな社会の実現を目指す主張が現れた。

人は，他者とともに生きている。それゆえ，生の有り様を考える際，他者との関係を切り離すことはできない。ならば，自己がよりよく生きるために，他者との共同のあり方を模索することが重要なのではないだろうか。

問1　下線部ⓐに関連して，仏教による鎮護国家が目指された時代の人物である行基の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 20

① 人間は凡夫であると謙虚に自己を認識し，この世は空(むな)しく仮のものであり，ただ仏だけが真実である，と説いた。
② 諸国を遊説し，橋や道を造り，民間に慈悲の精神を広めた。後には天皇の尊崇を受けて，大仏の建立にも関(かか)わった。
③ 都に大仏を建立し，全国に国分寺・国分尼寺を造り，僧侶に経典を読誦(どくじゅ)させ，国家の安定や滅罪を祈願した。
④ 多くの苦難を乗り越えて唐から渡来した。東大寺に戒壇を設け，公認の僧となるための正式な授戒制度を確立した。

問2　下線部ⓑに関して，栄西の思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 21

① 外には戒律を守り，内には慈悲の心を保って坐禅に打ち込み，悟りに達することによって，自己だけでなく国家をも平安にできる。
② 自ら善行ができると思う人は，自分に煩悩があるという自覚がない。自らの煩悩を自覚し，阿弥陀仏の他力をたのむ人にこそ救済はある。
③ ひたすら坐禅をして，身心を尽くした修行が重要であり，それにより，一切の束縛から解放され，身心脱落の境地に至る。
④ 釈迦の教えを正しく伝える『法華経』にこそ真理がある。この経典を最高のものとして尊重し，題目を唱えることで成仏は可能になる。

問3　下線部ⓒに関して，戦国時代から江戸時代の初期に，仏教を棄(す)てて儒学者となり，後に近世儒学の祖とされた人物として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

① 西川如見
② 室鳩巣
③ 木下順庵
④ 藤原惺窩

問4　下線部ⓓに関して，次の**ア**～**ウ**は，儒学に基づいて生きることを主張した江戸時代前期の思想家についての説明であるが，それぞれ誰(だれ)のことか。その組合せとして正しいものを，次の①～⑧のうちから一つ選べ。

23

ア　孝に，人倫関係を成り立たせている根本原理を見いだし，すべての人が儒学を学び実践すべきだと主張した。
イ　敬と義を重視して君臣関係のあるべき姿を論じるなど，厳格に朱子の教えを守って生きるべきだと主張した。
ウ　武芸を重んじ学問を軽んじる当時の武家の風潮に対し，武士は，儒学に基づき，為政者としての役割を果たすべきだと主張した。

①	**ア** 山崎闇斎	**イ** 中江藤樹	**ウ** 熊沢蕃山
②	**ア** 山崎闇斎	**イ** 山鹿素行	**ウ** 中江藤樹
③	**ア** 中江藤樹	**イ** 山崎闇斎	**ウ** 山鹿素行
④	**ア** 中江藤樹	**イ** 熊沢蕃山	**ウ** 山崎闇斎
⑤	**ア** 熊沢蕃山	**イ** 中江藤樹	**ウ** 山鹿素行
⑥	**ア** 熊沢蕃山	**イ** 山鹿素行	**ウ** 中江藤樹
⑦	**ア** 山鹿素行	**イ** 山崎闇斎	**ウ** 熊沢蕃山
⑧	**ア** 山鹿素行	**イ** 熊沢蕃山	**ウ** 山崎闇斎

問５　下線部ⓔに関して，平田篤胤の思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

①　『万葉集』を，古の遺風を伝える書物と考え，儒学や仏教の解釈によらずに，文献学的・実証的に研究すべきだと主張した。古来の為政の理想である古道を見いだす学問を始め，国学の祖と言われる。

②　和歌や物語文学を通じて歌道を研究するなかで，漢意を捨てて，悲しむべきことを悲しみ，喜ぶべきことを喜ぶ，ありのままの心のはたらきを知ることこそが大切であると説いた。

③　古道を知るには『万葉集』を研究すべきであると考え，儒学や仏教の影響を受けていない日本人の素朴な自然のままの境地の重要性を主張し，「高く直き心」を理想とした。

④　死後の霊魂の行方を論じるなど，日本人の死後の安心にも関心を抱いた。また，仏教や儒学の教説を排除し，神の子孫である天皇を中心とした古代の道に立ち戻るべきだと，独自の神道説を唱えた。

問６　下線部ⓕに関して，日本の近代化について述べた夏目漱石の次の文章を読み，その説明として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

日本の開化は自然の波動を描いて甲の波が乙の波を生み乙の波が丙の波を押し出すように内発的に進んでいるかというのが当面の問題なのですが，残念ながらそう行って居ないので困るのです。……日本の現代の開化を支配している波は西洋の潮流で，その波を渡る日本人は西洋人でないのだから，新しい波が寄せるたびに，自分がその中でいそうろうをして気兼ねをしているような気持ちになる。新しい波はとにかく，今しがたようやくの思いで脱却した旧(ふる)い波の特質やら真相やらも弁(わきま)えるひまのないうちに，もう棄てなければならなくなってしまった。……これは開化じゃない，開化の一端ともいえないほどの些細(ささい)な事である。……我々のやっている事は内発的でない，外発的である。これを一言にしていえば，現代日本の開化は皮相上滑りの開化であるということに帰着するのであります。……それが悪いからおよしなさいというのではない。事実やむをえない，涙を呑(の)んで上滑りに滑って行かなければならないというのです。　　（「現代日本の開化」より）

① 現代の開化は，皮相で外発的なものであり，それは受動的に時代に流されているということである。日本の開化は受け身ではなく，主体的で内発的な近代化でなければならないし，それは可能であると漱石は主張している。

② 随時新しいものを輸入し，以前の考え方を刷新することで，内発的な近代化が可能になる。新しいものを取り入れることには苦労が伴うが，その苦労を引き受けることで，真の近代化が可能になると漱石は述べている。

③ 西洋の新しいものを単に受け入れるのではなく，その中身を吟味し消化する内発的な近代化が大切であるが，実現は困難である。内発的な近代化という理想と，外発的な近代化が進む現状との落差を，漱石は指摘している。

④ 現代の開化は，西洋の内発的で順調な近代化と比較して，正常なコースを大きく外れたものである。このままでは日本は西洋に追いつくことはできないと，嘆くしかない悲観的な現実認識を漱石は示している。

問7　下線部ⓖに関して，次の**ア**～**ウ**は当時の貧しい人々や女性など社会的弱者の問題について考えた人物の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。**26**

ア　北一輝は，貧しい農民や労働者を救うために，現状を変革し，富が平等に分配されるようにすべきだと訴えた。そのためには，天皇と国民が直結する国家の建設が必要だと考え，『日本改造法案大綱』を著した。

イ　与謝野晶子は，歌人として，自己の感情や官能を大胆に歌い，人間性の解放を主張した。また，「元始，女性は実に太陽であった」と主張し，女性の解放を求める運動を展開した。

ウ　河上肇は，『貧乏物語』を著すなど，貧困への対策の必要を説いた。彼は，内村鑑三やトルストイの影響を受けた人道主義者であったが，後には，次第にマルクス主義的主張に傾斜していった。

①	**ア**　正	**イ**　正	**ウ**　正
②	**ア**　正	**イ**　正	**ウ**　誤
③	**ア**　正	**イ**　誤	**ウ**　正
④	**ア**　正	**イ**　誤	**ウ**　誤
⑤	**ア**　誤	**イ**　正	**ウ**　正
⑥	**ア**　誤	**イ**　正	**ウ**　誤
⑦	**ア**　誤	**イ**　誤	**ウ**　正
⑧	**ア**　誤	**イ**　誤	**ウ**　誤

問８　下線部ⓗに関連して，次の文章は，戦後のあるべき社会や生き方についての主張の記述である。 **a** 〜 **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを，下の①〜⑧のうちから一つ選べ。 **27**

a は，「何となく何物かに押されつつ，ずるずると」開戦に至り，戦争をやめることができなかった戦前・戦中の日本社会に，無責任の体系を見いだし，批判的な検討を加えた。そして，戦後の社会において，**b** による民主的な市民社会の形成を唱えた。一方，竹内好は，中国の近代化に，日本とは異なる可能性を読み取り，日本の近代化の優等生的な性格を批判し，アジアに開かれた日本のあり方を模索した。

また，坂口安吾は，人間本来の姿に戻ることを **c** と呼び，偽り飾ることのない「ただの人間になる」べきだと主張した。時流に乗って民主主義を主張する人も多いなか，彼は一人ひとりが新たな戦後を反省的に始めるべきだと説いたのである。

①	**a**	丸山真男	**b**	労働者階級	**c**	諦念
②	**a**	丸山真男	**b**	労働者階級	**c**	堕落
③	**a**	丸山真男	**b**	近代的主体	**c**	諦念
④	**a**	丸山真男	**b**	近代的主体	**c**	堕落
⑤	**a**	小林秀雄	**b**	労働者階級	**c**	諦念
⑥	**a**	小林秀雄	**b**	労働者階級	**c**	堕落
⑦	**a**	小林秀雄	**b**	近代的主体	**c**	諦念
⑧	**a**	小林秀雄	**b**	近代的主体	**c**	堕落

問9　本文の内容に合致する記述として最も適当なものを，次の①〜④のうちから一つ選べ。 28

① 人は，よりよく生きるために，他者との関係から目を背けず，共同のあり方を模索することが必要である。例えば，近代の啓蒙思想家は，国家と個人の関係を重要視し，個人が自覚的に担う新たな国造りを目指した。そして彼らは，国家の繁栄を優先し，個人の権利は国家の繁栄のためにのみ行使されるべきだと主張した。

② 人は，他者とどのように共同するのかを考えるなかで，自己のあり方を模索する必要がある。例えば，国学者は，従来の仏教や儒学の受容のあり方を，外来の教えに対して従属的であると批判した。そして彼らは，あるがままに生きた古代日本人の共同のあり方を理想化し，外来思想と積極的に共存する開かれた日本文化の確立を主張した。

③ 人は，よりよく生きるために，他者との関係から目を背けず，共同のあり方を模索することが必要である。例えば，仏教者は，誰もが煩悩を抱いて苦しむ存在であると考え，自他の救済について様々な試みを積み重ねていった。そして彼らは，誰もが救済されるためには，まず個を捨てて，他者と一体化することが必要であると主張した。

④ 人は，他者とどのように共同するのかを考えるなかで，自己のあり方を模索する必要がある。例えば，儒学者は，人と人とのつながりを省みないとして仏教を批判し，父子の君臣のような人倫関係のなかに，あるべき生き方を求めた。そして彼らは，身近な人とどのように共同するかという問題こそが重要なのだと主張した。

第２講　解答

源流思想（2014年度追試２）

問１	11	⑤	問２	12	①	問３	13	③
問４	14	②	問５	15	②	問６	16	③
問７	17	①	問８	18	⑦	問９	19	①

日本思想（2014年度追試３）

問１	20	②	問２	21	①	問３	22	④
問４	23	③	問５	24	④	問６	25	③
問７	26	③	問８	27	④	問９	28	④

〈 ***Note*** 〉

第２講　総まくり○×テスト

源流思想

古代ギリシアの思想

1　『イリアス』『オデュッセイア』はともにホメロスの作と伝えられる。
2　タレスは，万物の根源〔アルケー〕を火であるとした。
3　ソフィストのプロタゴラスは，「人間は万物の尺度である」と語った。
4　ソクラテスの心理の探求法を，問答法〔助産術〕という。
5　プラトンは，アテネ郊外にリュケイオンという学園を設立した。
6　アリストテレスは，さまざまな学問の基礎を確立し「万学の祖」と呼ばれる。
7　ゼノンが説いたストア派の信条は「隠れて生きよ」である。
8　エピクロスは，外界から煩わされない魂の平静な境地(＝アタラクシア)を理想とした。
9　五賢帝の最後であるマルクス＝アウレリウス＝アントニヌスは，ストア派の哲学者で『自省録』を著した。

ユダヤ教

1　イスラエル人は，ヘブライ人やユダヤ人とも呼ばれる。
2　モーセは出エジプトの途中，シナイ山でヤハウェ〔神〕から十戒を授かり，これを民に示した。
3　エルサレムにある「岩のドーム」が，ユダヤ教の聖地である。

キリスト教

1　マリアはイエスの母で，聖母と呼ばれている。
2　イエスは，神の愛〔アガペー〕や隣人愛を説いた。
3　『旧約聖書』では，イエスが十字架上の死後３日目に復活し，弟子たちの前に現れたとされる。
4　十二使徒の一人ペテロは，ローマ教会の創始者であり，初代教皇とみなされている。
5　パウロが信者にあてた「コリント人への手紙」「ローマ人への手紙」は『新約聖書』に収められ，聖典とされている。
6　キリスト教の三元徳は，信仰・希望・愛である。
7　古代キリスト教会最大の教父アウグスティヌスは，『神の国』『告白』を著した。
8　中世スコラ哲学では，「神学は哲学の侍女」とみなされた。
9　トマス＝アクィナスは『神学大全』を著しスコラ哲学を完成させた。

イスラーム

1　メッカはムハンマド生誕の地で，カーバ神殿はイスラームの聖域となっている。
2　イスラームにおいて信じるべき項目は６つあり，六信と呼ばれる。
3　イスラームでは厳しく偶像崇拝を禁じている。
4　最大・最後の預言者ムハンマドの後継者とされるイスラームの教主を，ウンマという。
5　イスラームの多数派はシーア派である。

インド思想と仏教

1　カースト制度最高の位置を占めるのは，司祭階級のバラモンである。
2　バラモン教の聖典が『ブラフマン』である。
3　ジャイナ教の開祖はヴァルダマーナ〔マハーヴィーラ〕である。
4　仏教が説く，「すべてのものは相互に寄り合い成立しており，無条件にそれ自体で存在するものはない」という存在の法則を解脱という。
5　「一切皆苦」「諸行無常」など，ブッダの悟った普遍的真理をあらわす４つの命題を四諦という。
6　快楽と苦行の極端を避け，どちらにも偏らない道を中庸という。
7　６世紀に朝鮮半島を通じ日本に伝来したのは，大乗仏教〔北伝仏教〕である。
8　ナーガールジュナ〔竜樹〕は，「空」の思想を強調し，哲学的にまとめた大乗仏教最大の思想家である。

中国の思想

1　諸子百家のうち，兼愛・非攻・交利などを説いたのは兵家である。
2　儒家の荀子に学び法家の思想の大成者となったのは韓非子である。
3　「己の欲せざるところは人に施すことなかれ」「己に克ちて礼に復るを仁となす」「いまだ生を知らず，いずくんぞ死を知らん」は孔子の言葉である。
4　孟子は道徳の中心として仁義を重んじた。
5　荀子の政治思想は徳治主義である。
6　朱子〔朱熹〕は宋の人である。
7　儒教の根本的教典である四書とは，『論語』『孟子』『大学』『礼記』のことである。
8　王陽明〔王守仁〕は「知行合一」を説いた。
9　「大道廃れて仁義あり」「上善は水のごとし」は老子の言葉である。
10　荘子の中心的な思想は「万物斉同」である。

日本思想

日本の風土と文化

1　和辻哲郎は，『風土』を著し，気候や地形など人間を取り巻く自然環境で世界を３類型に分けた。
2　奈良時代に成立した，日本最古の和歌集は『古今和歌集』である。
3　伊勢神宮の内宮に祀られる，天皇の祖先神とされる太陽神は天照大神である。
4　奈良時代の712年に成立した，日本最古の史書は『日本書紀』である。
5　神聖な水を使い，心身の穢れを洗い清めることを禊という。

日本の古代思想

1　聖徳太子は，死に臨み妻に「世間虚仮・唯仏是真」と語ったとされる。
2　奈良時代，行基が中国の唐から来日して律宗を伝えた。
3　最澄〔伝教大師〕は天台宗を開き，近江国に比叡山延暦寺を開山した。
4　密教の中心仏は大日如来である。
5　仏教を中心とする神仏習合の考えを本地垂迹説という。
6　「南無阿弥陀仏」と唱えることを三密という。
7　空也は「厭離穢土・欣求浄土」のための念仏を説き，『往生要集』を著した。

日本の中世思想

1　浄土真宗〔一向宗〕を開き，『教行信証』を著したのは親鸞である。
2　道元が唱えた，ひたすら坐禅に打ち込むことを身心脱落という。
3　日蓮宗で唱える題目とは「南無妙法蓮華経」である。
4　能の大成者で，『風姿花伝〔花伝書〕』を著したのは世阿弥である。

日本の近世思想

1　京都の臨済僧藤原惺窩は，朱子学の一派である京学の祖とされる。
2　朱子学の一派である南学には，垂加神道を唱えた木下順庵が出た。
3　肥前藩士山本常朝の『葉隠』冒頭は「武士道というは，死ぬことと見つけたり」である。
4　中江藤樹が強調した，孝の心の実践のあり方を「時・処・位」という。
5　伊藤仁斎・東涯父子が教鞭をとった私塾は京都の古義堂である。
6　荻生徂徠の唱えた古学の一派を古文辞学派という。
7　荷田春満は『万葉代匠記』を著し，国学の先駆者となった。
8　本居宣長は『源氏物語玉小櫛』で「もののあはれ」を知る人こそ，心あるよ

き人として理想化した。

9　「商人の買利は士の禄に同じ」は，『都鄙問答』に出てくる近松門左衛門の言葉である。

10　『自然真営道』を著した二宮尊徳が説いた理想の社会を自然世という。

11　杉田玄白・前野良沢らが訳出した初の西洋医学書は『解体新書』である。

12　松代藩の横井小楠は「東洋道徳，西洋芸術」という言葉で和魂洋才のあり方を説いた。

日本の近代思想

1　1873年に森有礼の発議で結成された明六社は，福沢諭吉・中村正直・西周・加藤弘之らが所属した啓蒙思想団体である。

2　「東洋のルソー」と呼ばれた中江兆民は，日本の恢復的民権を実質的に恩賜的民権に育てていくべきである，と説いた。

3　「二つのＪ」とは，新渡戸稲造が生涯を捧げようと誓った，イエスと日本のことである。

4　徳富蘇峰は，雑誌『国民之友』，新聞『国民新聞』を創刊して平民主義を唱えた。

5　西村茂樹は『日本道徳論』を著し，儒教を根幹として西洋哲学の長所を取り入れて道徳を再建すべきことを説いた。

6　吉野作造の民本主義と美濃部達吉の天皇機関説は，ともに大正デモクラシーを代表する思想である。

7　与謝野晶子は，雑誌『青鞜』創刊号の巻頭に「元始，女性は実に太陽であった」という言葉を載せた。

8　1901年に安倍磯雄・幸徳秋水らが結党した社会民主党は，わが国初の社会主義政党であった。

9　想世界（＝内面的世界）を重んじ，信仰と愛によってその実現をはかるべきことを説いた北村透谷は，ロマン主義を代表する人物である。

10　田山花袋は，晩年に「則天去私」の境地を唱えた。

11　『善の研究』は，鈴木大拙の代表的著書である。

12　柳田邦男や折口信夫，南方熊楠は，わが国を代表する民俗学者である。

13　『日本改造法案大綱』の著者である超国家主義者の北一輝は，二・二六事件の首謀者として処刑された。

日本の現代思想

1　『超国家主義の論理と心理』を著した政治学者は石橋湛山である。

2　小林秀雄は『様々なる意匠』を著し，日本の近代批評を確立した。

第2講　〇×テスト　解答

古代ギリシアの思想

1　〇　2　×（火→水）　3　〇　4　〇

5　×（リュケイオン→アカデメイア）　6　〇

7　×（隠れて生きよ→自然に従って生きる）　8　〇　9　〇

ユダヤ教

1　〇　2　〇　3　×（岩のドーム→嘆きの壁）

キリスト教

1　〇　2　〇　3　×（旧約聖書→新約聖書）　4　〇　5　〇　6　〇

7　〇　8　×（神学は哲学の侍女→哲学は神学の侍女）　9　〇

イスラーム

1　〇　2　〇　3　〇　4　×（ウンマ→カリフ〔ハリーファ〕）

5　×（シーア派→スンナ派〔スンニー〕）

インド思想と仏教

1　〇　2　×（ブラフマン→ヴェーダ）　3　〇　4　×（解脱→縁起）

5　×（四諦→四法印）　6　×（中庸→中道）　7　〇　8　〇

中国の思想

1　×（兵家→墨家）　2　〇　3　〇　4　〇

5　×（徳治主義→礼治主義）　6　〇　7　×（礼記→中庸）　8　〇

9　〇　10　〇

日本の風土と文化

1　〇　2　×（古今和歌集→万葉集）　3　〇

4　×（日本書紀→古事記）　5　〇

日本の古代思想

1　〇　2　×（行基→鑑真）　3　〇　4　〇　5　〇

6　×（三密→念仏）　7　×（空也→源信）

日本の中世思想

1　〇　2　×（身心脱落→只管打坐）　3　〇　4　〇

日本の近世思想

1　〇　2　×（木下順庵→山崎闇斎）　3　〇　4　〇　5　〇

6　〇　7　×（荷田春満→契沖）　8　〇

9　×（近松門左衛門→石田梅岩）　10　×（二宮尊徳→安藤昌益）
11　〇　12　×（横井小楠→佐久間象山）

日本の近代思想

1　〇　2　×（恢復的民権と恩賜的民権が逆）
3　×（新渡戸稲造→内村鑑三）　4　〇　5　〇　6　〇
7　×（与謝野晶子→平塚らいてう）　8　〇　9　〇　10　〇
11　×（鈴木大拙→西田幾多郎）　12　〇　13　〇

日本の現代思想

1　×（石橋湛山→丸山真男）　2　〇

第３講　西洋近現代思想（2013 年度追試４）

（解答番号 30 〜 38 ）

第４問　次の文章を読み，下の問い（問１〜９）に答えよ。（配点　24）

社会の秩序は法や制度によって維持される。しかし，それらは時として個人の自由と衝突する。西洋近現代の思想家は，社会のなかで個人の自由がどのように実現すると考えてきたのだろうか。

法は現実的にはⓐ政治的権力によって運用されているために，権力が人々の自由な生き方を脅かす可能性は常に残る。そこでロックは，政府の役割を個人が生まれながらにもつⓑ自然権の保障に限定すべきだと考えた。彼によれば，信仰など個人の内面に関(かか)わる問題に対して，政府は原則として中立でなければならない。18世紀になると，ⓒアダム・スミスが，経済活動における個人の自由を擁護し，市場での自由競争に対する政府の不当な介入を否定した。

ロックらの立場とは異なり，自由は理性によって定められた法に自ら従うところに存すると考える立場もあった。ルソーは，共同の利益を目指すⓓ意志に，個人が自ら従うことを市民にふさわしい自由とし，欲望に従う自由から区別した。カントはこの自由概念に影響を受け，ⓔ自律こそが真の自由であると主張した。これに対しヘーゲルは，カントの考えを受け継ぎながらも，ⓕ他者や社会制度との密接な関わりという側面をより重視した。ヘーゲルによれば，現実的自由は，個人が追求する各自の利益と共同の利益が調和することを前提とする。個人の自由は，国家の法や制度のなかでこそ実現するのである。

20世紀になると，大衆社会という新たな状況のなかで，個人がⓖ自由であることの困難さが浮かび上がってきた。ファシズムのもとでは，自由を守るはずの法が人々を抑圧する手段と化したが，そうした状況は，部分的には人々の自由な選択が招いた結果でもあった。こうした事態を克服するためには，個人の決断が結果として他者を巻き込んでいく事実を自覚する必要がある。ⓗサルトルはこのことを強く訴え，自由な決断に伴う責任を説いた。

法や制度は，個人が社会のなかで自由に生きることを保障するとともに，個人の自由を制約するものでもある。また，それらは時に形骸化(けいがいか)したり政治的権力に利用されたりする。私たちは，自由であるために，不自由さに対しても，自分の行為が社会に及ぼす影響に対しても，意識的でなければならないだろう。

問１　下線部ⓐに関連して，16世紀はじめ，力量ある人物が権力を巧みに操って，道徳にとらわれず国家を統治すべきであると説いた思想家として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

① ブルーノ
② トマス・モア
③ ボシュエ
④ マキャヴェリ

問２　下線部ⓑに関して，次の**ア**～**ウ**は自然権ないし自然法について考察した思想家の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 **31**

ア　ホッブズは，人間は生まれながらにして自己保存の欲望をもち，その欲望を追求する自然権を有していると考えた。
イ　ベンサムは，個人の生命・自由の保障は，理性の声である自然法に基づくものであると考えた。
ウ　グロティウスは，人間本性に由来する普遍的原理としての自然法と，国家間の取り決めである国際法は対立関係にあると考えた。

①	**ア** 正	**イ** 正	**ウ** 正
②	**ア** 正	**イ** 正	**ウ** 誤
③	**ア** 正	**イ** 誤	**ウ** 正
④	**ア** 正	**イ** 誤	**ウ** 誤
⑤	**ア** 誤	**イ** 正	**ウ** 正
⑥	**ア** 誤	**イ** 正	**ウ** 誤
⑦	**ア** 誤	**イ** 誤	**ウ** 正
⑧	**ア** 誤	**イ** 誤	**ウ** 誤

問３　下線部ⓒに関して，アダム・スミスの思想の内容の記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

① 財の分配において各人を等しく一人として数える平等の原則が，道徳の原理であると同時に立法や行政を指導する理念となる。

② 道徳の原理となるのは共感であり，自己利益を追求する行為は，公平な第三者の視点から共感が得られる範囲内で是認される。

③ ある知識が真理であるか否かは，その知識に基づいて行動した場合に有益な結果が得られるか否かによって決定される。

④ 快楽には，人間らしい能力を発揮するときに感じられる高級な快楽と，動物的で低級な快楽とがあり，人間は高級な快楽を求めることができる。

問４　下線部ⓓに関して，西洋の思想家は様々な仕方で個人の意志について考えてきた。そうした思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

① フロイトは，生存への不合理な意志こそが世界の根源であり，個人はこうした意志を肯定することによって苦悩から脱却し得ると説いた。

② エラスムスは，自由意志を否定し，人間は信仰によって義とされることで罪から解放されて内的な自由をもつと主張した。

③ デカルトは，情念に左右されず，自由意志を用いて理性に従うことで自分自身に対する尊重が生まれると考え，それを高邁の精神と呼んだ。

④ スピノザは，人間が自分のことを自分で決められる自由意志をもっている点に，他の生物とは異なる人間の尊厳があると考えた。

問５　下線部ⓔに関して，自律的な主体からなる共同体についてのカントの思想を説明した次の文章を読み，**a**・**b**に入れる語句の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。**34**

カントは，すべての人間が互いを自律的主体とみなし尊重し合う道徳的共同体を理想的な社会とし，これを**a**の国と呼んだ。さらに，国際的にも道徳が実現することを目指して**b**を唱えた。

① **a**　目　的　**b**　永久平和
② **a**　相互承認　**b**　永久平和
③ **a**　主体性　**b**　永久平和
④ **a**　目　的　**b**　予定調和
⑤ **a**　相互承認　**b**　予定調和
⑥ **a**　主体性　**b**　予定調和

問６　下線部ⓕに関連して，次の**ア**～**ウ**は社会の変化と個人の関係についての思想の記述であるが，それぞれどの思想家のものか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 **35**

ア　創造的な生命の流れは，自己防衛の本能に基づく閉鎖的な社会から普遍的な人類愛に基づく社会へと人間を向かわせる。その転換は，人類愛をそなえた人物の創造的行為によって成し遂げられる。

イ　個人は適者生存のメカニズムと自由競争によってふるいにかけられ，社会は共同性のより高い状態へと変容していく。そして，最終的に社会は，個人の権利が尊重され，個人の自由が実現される産業型社会へと発展する。

ウ　人間精神は，科学の精神を最高段階として，三段階の進歩を遂げる。科学の精神をそなえた科学者は，事実の観察を通して発見した社会の発展法則に基づき，社会を設計する必要がある。

①	**ア**　スペンサー	**イ**　シェリング	**ウ**　ベルクソン
②	**ア**　スペンサー	**イ**　ベルクソン	**ウ**　シェリング
③	**ア**　コント	**イ**　ベルクソン	**ウ**　シェリング
④	**ア**　コント	**イ**　シェリング	**ウ**　ベルクソン
⑤	**ア**　シェリング	**イ**　スペンサー	**ウ**　コント
⑥	**ア**　シェリング	**イ**　コント	**ウ**　スペンサー
⑦	**ア**　ベルクソン	**イ**　コント	**ウ**　スペンサー
⑧	**ア**　ベルクソン	**イ**　スペンサー	**ウ**　コント

問７　下線部ⓖに関して，自由であることの困難さについて考察したフロムの説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 36

① 死への恐怖や飢えにより精神的自由すら奪われてしまう収容所での体験をもとに，人間らしい生き方とは何かを探究した。

② 自由によってもたらされる孤立を恐れるあまり，人々が支配・被支配の関係を求めて，自ら服従へと向かう場合があると指摘した。

③ 人間は，他人との争いや愛する者の死など人生の壁に直面し，自分の有限性を痛感する限界状況を通して自己の本来のあり方にめざめると説いた。

④ 権力が日常的な人間関係のなかで働いて本来の自由が損なわれる危険性を指摘し，権力を強化する監獄などの装置を作り出した近代社会を批判した。

問８　下線部ⓗに関して，サルトルの次の文章※を読み，その説明として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **37**

※この部分につきましては，著作権の都合上
掲載することができません。

① 生まれながらにして自己に与えられた本質を，具体的な行動を通じて実現していくところに，人間に固有の自由は存する。

② どのような道徳に従うかを自分で決めるに際して，多数者による同調への圧力を完全に排除できなければ，真に自由な決断とは言えない。

③ 自己の様々な可能性を追求することは，それが他者の自由を損なっているという事実を顧みない，責任を欠いた態度である。

④ 自由はあらゆる価値の基礎にあり，それ自体が行為の目的なのだから，個人は自分だけでなく他人の自由もまた同時に求めるはずである。

問９　本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを，次の①〜④のうちから一つ選べ。**38**

①　法や制度は，他者とともに生きることを支えるものであるが，時に人々の自由を抑圧する手段ともなる。それゆえ，各人は，法や制度のあり方を常に問い直し，社会のなかで自分が自由であることの意味を考える必要がある。

②　法や制度は，時に個人の自由と衝突するが，各人が共同の利益を顧慮することで，衝突を回避し得る。それゆえ，各人は，自らの利益を犠牲にして常に社会全体の利益を優先させる義務があることを自覚する必要がある。

③　法や制度は，他者とともに生きることを支えるものであるが，時に政治的権力によって濫用（らんよう）されてしまう。それゆえ，各人は，自由であるために，社会から距離を取り，法や制度との関わりを可能な限り控える必要がある。

④　法や制度は，時に個人の自由と衝突するが，人間の自由な決断は本来，あらゆる障害を乗り越える可能性を秘めている。それゆえ，各人は，権力との衝突を恐れることなく，法や制度にとらわれずに行動する必要がある。

第３講　西洋近現代思想（2009 年度４）

（解答番号 22 ～ 30 ）

第４問　次の文章を読み，下の問い（問１～８）に答えよ。（配点　24）

この世界における確実なことを見通す困難さは，闇（やみ）に譬（たと）えられる。闇の中を生きていくためには光が要る。西洋近代哲学はⓐその光を理性に求め，それによって世界を隈（くま）なく照らしだそうとした。ここでは，西洋近代における理性の歩みを振り返り，現代における理性の意義を考えてみよう。

デカルトは，確信をもって人生を歩むために真偽を識別する新しい原理を探求し，哲学の第一原理となるⓑ「コギト（私は考える）」を探り当てた。いわば闇を照らす光である。この光としての理性の能力を吟味したカントは，現実の人間がいかに欲望に流されやすくとも，ⓒ人間の意志は道徳法則を義務として受け止め，かつそれに従いうるのであり，そこに理性的存在としての人間の自由があるとした。これに対してヘーゲルは，カントにおける理性と自由との関係がなお 22 なものにとどまるとした。彼は歴史を精神の自己展開の過程と把握し，そこで精神の本質である自由が実現されると考えたのである。このように，西洋近代哲学において理性は，世界を光の王国につくりかえる自由の原理と考えられたのである。

しかし，ガス灯や電灯で闇を追い払った近代文明が様々な問題を抱えていたように，理性による光の王国も多くの問題を孕（はら）んでいた。キルケゴールは，ⓓ倫理的であろうとすると絶望せざるを得ない人間の現実を直視した。そこからみれば，理性を通じた自由の実現という構想は，人間の現実を無視した空論にすぎない。このようなキルケゴールの考え方は，後の 23 などに影響を与え，実存主義の道を切り開いた。他方，ヘーゲル哲学を事実から切り離された空論に陥っていると批判したパースは，行動に立ち返ってⓔ思考を明晰（めいせき）にする方法を発展させ，プラグマティズムを提唱した。両者は理性を人間の生の営みのなかに位置づけて世界を捉（とら）え直し，それぞれの立場から現代における哲学の課題を明らかにしたのである。

戦争や環境破壊の危機に直面する現在，近代文明を推進した理性の見直しはますます差し迫った課題となっている。現代では，光としての理性の有する特権的な位置づけは失われ，ⓕ人間理性は人々の日常の行為や言語の働きから理解されるようになってきた。理性に対するこのような反省は，近代理性の光の及ばぬ暗がりを探り出し，人間社会のあり方に対して，ⓖ新たな展望を与えようとする試みと言えよう。

問１　文章中の［22］・［23］に入れるのに最も適当なものを，次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

［22］　①　具体的　②　抽象的　③　客観的　④　現実的

［23］
①　ショーペンハウアー　②　ベルンシュタイン
③　ヤスパース　④　フッサール

問２　下線部ⓐに関連して，人間の理性という光をもって世界を照らし出そうとした西洋近代の思想を啓蒙思想という。フランス啓蒙思想家の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［24］

①　モンテスキューは，人民の革命によって絶対王政を転覆すべきだとした。
②　ヴォルテールは，ロックの経験論に学び宗教的な迷信や偏見を批判した。
③　ディドロは，王政の保護のもと，宗教を擁護する『百科全書』を編纂(へんさん)した。
④　サン＝シモンは，資本主義の科学的分析に基づいて理想社会を構想した。

問３　下線部ⓑに関して，デカルトは「コギト」から出発して精神を理解した。精神に関するデカルトの見解として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

① 精神は，人間の根源にある欲望を統御する良心であり，教育を通じて社会の規範が内面化されたものである。

② 精神は，誠実なる神によって人間に与えられた良識であり，信仰に応じて各人に配分されているものである。

③ 精神は，思考を属性とする実体であり，延長を属性とする物体である身体から明確に区別されるものである。

④ 精神は，客観的な真理を追究しようとする高邁の心であり，情念との関(かか)わりをもたずに存在するものである。

問４　下線部ⓒのように道徳を捉えたカントに対して，功利主義者ベンサムは行為の判断基準として行為の結果を重んじた。後者の考え方による発言として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **26**

① 「私は，どんな状況下でも嘘(うそ)をつくべきではないと考えているので，自分に不利益が及ぶとしても，正直に話をすることにしている。」

② 「私の行動原則は，その時々の自分の快楽を最大にすることだから，将来を考えて今を我慢するようなことはしないことにしている。」

③ 「社会の幸福の総和が増大するとしても，不平等が拡大するのはよくないから，まずは個々人の平等を実現すべきだと，私は考える。」

④ 「自分の行動が正しいかどうかに不安を覚えるとき，私は，その行動をとることによって人々の快楽の量が増えるかどうかを考える。」

問５　下線部ⓓに関して，キルケゴールはどのように考えたか。その説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

① 本来の自己を見失って絶望する人間は，理性によっては根拠づけられることのない信仰への決断によって，本来の自己を回復できる。

② 現世の悪に絶望するキリスト者は，神から与えられた現世の務めに専心することによって，人間としての本来のあり方を獲得できる。

③ 超越的な神がもはや存在しない現実に絶望する人間は，自ら覚悟をもって価値創造に挑むことで，本来の力を獲得することができる。

④ 肉体を支配する悪の原理に絶望するキリスト者は，信仰による決断を通して，魂を肉体から解放し，本来の故郷に帰ることができる。

問６　下線部ⓔに関して，パースにおいて思考を明断にするとは，行動を導く信念の意味内容をはっきりと捉えることであった。これに関する次の文章※を読み，パースの考え方の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

※この部分につきましては，著作権の都合上
掲載することができません。

① 思考を明断にするためには，同じ習慣的な行動であっても，異なった信念に導かれていることに注意すべきである。

② 思考を明断にするためには，主観的な信念の違いにではなく，客観的な行動を導く意識の違いに注意すべきである。

③ 思考を明断にするためには，信念の表現の違いにではなく，信念が生み出す行動の仕方の違いに注目すべきである。

④ 思考を明断にするためには，人間の内面に隠れている意識や信念の相違を言い表す表現の違いに注目すべきである。

問７　下線部ⓕのあり方を批判的に検討した現代の思想家フーコーについての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

① 西洋哲学を成り立たせてきた主体などの概念が覆い隠してきた問題を，歴史のなかで新たに問うために脱構築を主張し，理性の概念を捉え直した。

② 理性と狂気とが区別されるようになってきた西洋の歴史を分析し，確固とした理性という考えが歴史の過程の産物であることを明らかにした。

③ 非西洋の未開社会の実地調査を通して，西洋社会とは異なる独自の思考体系を見いだし，西洋の理性的思考を特権化するような考えを斥(しりぞ)けた。

④ 自己意識のなかに取りこめない他者性が現れる場を「顔」という言葉で表現し，そのような他者に向き合えない理性の暴力性に照明を当てた。

問８　本文の趣旨に照らして，下線部ⓖの「新たな展望」とはどのようなものであると考えられるか。その記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

① 近代理性は，具体的な日常のなかで生きるための知恵を提供できなかったために，戦争や環境破壊を招いた。今後は，日常の知恵を教える権威に従って，知恵に基づいて生きる道を模索すべきである。

② 近代理性は，社会的存在であることに伴う義務を軽視してきたために，社会を不安定にし，人間疎外を招いた。今後は，伝統的な社会的規範の意義を見直し，義務を自覚する道を模索すべきである。

③ 近代理性は，未開の闇を克服して光の文明社会を建設しようとしたが，自然破壊など新たな野蛮に陥った。今後は，理性のみならず感情にも目を向け，内なる自然に従う道を模索すべきである。

④ 近代理性は，自由を実現する主体として優越的な地位を与えられてきたが，様々な問題の源ともなっている。今後は，自由の主体としての理性を捉え直し，対話によって生きる道を模索すべきである。

第３講　解答

西洋近現代思想（2013年度追試４）

問１ 30 ④	問２ 31 ④	問３ 32 ②
問４ 33 ③	問５ 34 ①	問６ 35 ⑧
問７ 36 ②	問８ 37 ④	問９ 38 ①

西洋近現代思想（2009年度４）

問１ 22 ②	23 ③	問２ 24 ②
問３ 25 ③	問４ 26 ④	問５ 27 ①
問６ 28 ③	問７ 29 ②	問８ 30 ④

〈***Note***〉

第３講　総まくり○×テスト

近現代の西洋思想

ルネサンス・モラリスト

1　ルネサンスの理想の人間像は，万能人〔普遍人〕である。

2　ペトラルカは，『神曲』（ダンテ）に対し“人曲”とも呼ばれる小説『デカメロン』を発表した。

3　エラスムスは，『人間の尊厳について』で人間の自由意志を肯定した。

4　代表的なモラリストであるフランスのモンテーニュは，『エセー〔随想録〕』で懐疑主義を「ク＝セ＝ジュ〔私は何を知るか〕」という言葉で表した。

宗教改革

1　人間は神への信仰によってのみ義とされる，というルターの根本的な思想を「信仰義認説」という。

2　カルヴァンの主著は，『キリスト教綱要』である。

近代科学の成立

1　コペルニクスは，『天体の回転について』を著し地動説を唱えた。

2　万有引力の法則は，ドイツのケプラーが発見した。

イギリス経験論

1　ベーコンは，伝統や権威を鵜呑みにし，誤った考えを盲信することで生まれる偏見を「洞窟のイドラ」とした。

2　ベーコンの主著には『ノヴム＝オルガヌム〔新機関〕』『ニュー＝アトランティス〔新大陸〕』などがある。

3　「存在されるとは知覚されることである」は，ヒュームの言葉である。

大陸合理論

1　「コギト＝エルゴ＝スム（われ思う，ゆえにわれあり）」は，デカルトの言葉である。

2　普遍的な命題から，理性的な推理によって特殊な心理を導く方法を「帰納法」という。

3　ドイツのライプニッツは，「神即自然」という汎神論的な哲学を唱え『永遠の相のもとに』『エチカ』を著した。

社会契約説

1　オランダのグロティウスは，「近代自然法の父」「国際法の父」と呼ばれる。
2　ホッブスは，イギリスの名誉革命期の哲学者・政治学者である。
3　ロックは，『統治二論〔市民政府二論〕』『人間悟性論』などを著した。
4　モンテスキュー，ヴォルテール，ディドロ，ダランベールはすべてフランスの啓蒙思想家である。
5　フランスのルソーは，全体意志〔全体意思〕を社会契約説の基本原理とし，イギリスの代議制を一般意志〔一般意思〕に基づいていると批判した。

ドイツ観念論〔ドイツ理想主義〕

1　対象が意識を規定するのでなく，意識が対象を規定するという，カントの哲学の変革を「コペルニクス的転回」と呼ぶ。
2　カントの道徳法則の根本原理は，「自然は服従することによってでなければ征服されない」である。
3　ヘーゲルは，矛盾･対立する立場を総合･統一することを，止揚〔アウフヘーベン〕と呼んだ。
4　ヘーゲルは，「世界史は自由の意識の進歩である」という言葉を遺した。

功利主義

1　『国富論〔諸国民の富〕』『道徳感情論』は，ともにイギリス古典派経済学者アダム=スミスの主著である。
2　ベンサムは，快楽は数量的に計算できるという「快楽計算」を提唱した。
3　ミルは『功利主義』『自由論』を著し，ベンサムの量的功利主義を修正し，質的功利主義を説いた。

実証主義と進化論

1　実証主義を確立したのはイギリスの哲学者コントである。
2　ダーウィンの生物進化論に対し，ベルクソンは社会進化論を唱えた。

社会主義

1　ドイツのマルクスとエンゲルスは，イギリスのオーウェン，フランスのサン=シモンやフーリエら先人の社会主義者を「空想的社会主義者」とした。

2　マルクスとエンゲルスが確立した社会観･歴史観を，「唯物史観〔史的唯物論〕」と呼ぶ。

3　マルクスの経済学の主著は『資本論』である。

4　イギリスのベルンシュタインは，修正マルクス主義を唱えた。

5　1917年にロシア革命を起こしたのは，レーニンらである。

実存主義

1　キルケゴールのいう「実存の三段階」の最終段階は，美的実存である。

2　ニーチェは『悲劇の誕生』『ツァラトゥストラはこう語った』『力への意志』などを著した。

3　ヤスパースは，「実存的交わり」を説いた，有神論的実存主義者である。

4　ハイデッガーは，日常生活に埋没して，他人と同じようにふるまいながら，何者でもないような匿名の存在としての人間を，「ひと〔世人，ダス=マン〕」とした。

5　サルトルは，「人は女に生まれるのではない。女になるのだ」と言った。

6　実存主義の作家であるカミュは，『異邦人』『ペスト』などの作品を遺した。

プラグマティズム

1　プラグマティズムの創始者は，ジェームズである。

2　デューイの哲学の根本思想は，「道具主義」であるが，教育学者として『民主主義と教育』などの著書もある。

現代のヒューマニズム

1　シュヴァイツァー思想の根本理念は，「非暴力主義」である。

2　修道女マザー=テレサは，「無関心」を罪であるとし，インドで奉仕活動に打ち込んだ。

3　「インド独立運動の父」と呼ばれるのは，ガンディーである。

4　アメリカでワシントン大行進を行い，黒人解放運動を主導したのはキング牧師である。

フランクフルト学派

1　ホルクハイマーとアドルノの共著が，『啓蒙の弁証法』である。

2　「対話的理性〔コミュニケーション的理性〕」という言葉を用いたのは，ハーバーマスである。

構造主義と新しい思想

1　スイスのソシュールは，『悲しき熱帯』『野生の思考』などを著した。

2　フランスのフーコーは，構造主義と関わりながらも，独自の思想を展開し，『言葉と物』『狂気の歴史』『監獄の誕生』などを著した。

3　言語哲学者のウィトゲンシュタインは，「語りえぬものについては，沈黙しなければならない」という言葉を残した。

4　アメリカの科学史家クーンは，「パラダイム」という概念を唱えた。

5　フランスのデリダは，新しい哲学を構築しようとして「脱構築」を唱えた。

6　ハンナ=アーレントは，『全体主義の起源』『人間の条件』などを著した

7　ハーバード大学で哲学を教えたフリードマンは，『正義論』を著した。

第３講　○×テスト　解答

ルネサンス・モラリスト

１　○　２　×（ペトラルカ→ボッカチオ）

３　×（エラスムス→ピコ＝デラ＝ミランドラ）　４　○

宗教改革

１　○　２　○

近代科学の成立

１　○　２　×（ドイツのケプラー→イギリスのニュートン）

イギリス経験論

１　×（洞窟のイドラ→劇場のイドラ）　２　○

３　×（ヒューム→バークリー）

大陸合理論

１　○　２　×（帰納法→演繹法）

３　×（ドイツのライプニッツ→オランダのスピノザ）

社会契約説

１　○　２　×（名誉革命期→ピューリタン革命期）　３　○　４　○

５　×（全体意志と一般意志が逆）

ドイツ観念論〔ドイツ理想主義〕

１　○

２　×（「　」内がベーコンの言葉になっているので…→汝の意志の格率が，つねに同時に普遍的な法則として妥当しうるように行為せよ）

３　○　４　○

功利主義

１　○　２　○　３　○

実証主義と進化論

１　×（イギリス→フランス）　２　×（ベルクソン→スペンサー）

社会主義

１　○　２　○　３　○　４　×（イギリス→ドイツ）　５　○

実存主義

１　×（美的実存→宗教的実存）　２　○　３　○　４　○

５　×（サルトル→ボーヴォワール）　６　○

プラグマティズム

1　×（ジェームズ→パース）　2　○

現代のヒューマニズム

1　×（非暴力主義→生命への畏敬）　2　○　3　○　4　○

フランクフルト学派

1　○　2　○

構造主義と新しい思想

1　×（ソシュール→レヴィ＝ストロース）　2　○　3　○　4　○

5　○　6　○　7　×（フリードマン→ロールズ）

第４講　倫理総まくり①

入試にはこう出る！　青年期・源流思想・日本思想

1　マーガレット＝ミード（米）は，サモア島などでの調査から，歴史的・地域的な状況が個性の形成に大きく影響すると考えた。

2　乳児から高齢者に至る発達過程を理論化したエリクソンは，成熟した人格の確立には，他者からの視点を意識しつつ，物事を客観的にとらえる脱中心化が不可欠であると考えた。

3　自我同一性の拡散を表す用語として，通過儀礼〔イニシエーション〕，モラトリアム人間，自意識過剰などがあげられる。

4　マズローは，自己実現に至る欲求の５つの階層のなかで，身体の安全を求める欲求より上位に，他者に認められたい欲求を置いた。

5　若者たちのアイデンティティの形成には，アニメやロックミュージックなどのようなサブカルチャーが影響を与えてきた。

6　ギリシャ自然哲学の考えでは，事物は多様な仕方で生成するが，その根源には「空気」「水」「火」といった構成元素が，本質において変わることのない原理として存在する。

7　ソクラテスは，無実の罪で自分を死に追いやろうとするポリスの現状を恥ずかしく思い，抗議のために毒杯を仰いだ。

8　プラトンは，知恵を愛する者が，勇気を身につけた防衛者階級と節制を身につけた生産者階級を統治するとき，正義が実現すると考えた。

9　アリストテレスは，正義・節制・友愛などの倫理的徳は，人間に生まれつき備わっていると考えた。

10　ゼノンのストア派は，欲望を抑えていかなる感情にも心を動揺させることのないアパテイア〔不動心〕をめざして暮らすことを生活信条とした。

11　モーセは王の宮殿で育てられたが，荒野で啓示を受け，奴隷となっていた同胞を約束の地カナーンへと向かわせ，神から授けられた律法〔トーラー〕を示した。

12　イエスはユダヤ教内で人格的応答の視点が後退し，いわゆる福音主義が台頭したとき，これを徹底的に批判した。

13　キリスト教では，イエスが自らの言行を編集した『新約聖書』に新たな文章を加えることが禁じられ，聖典を正しく保持すべきとされた。

14　４～５世紀に活躍したマルクス＝アウレリウスは，青年期は欲望のままに生きていたが，神への信仰に目覚め，悪に苦悩しながら，自らを見つめ直していった。彼は，その遍歴を，著作『告白』に記した。

15　トマス＝アクィナスは，当時ギリシャ語やアラビア語から翻訳されたアリストテレスの哲学に大きな影響を受け，その配分的正義の考えを踏まえ，私有財産制度を認めつつ，同時に，貧者への施しなどを通して社会における富の偏在を是正する必要性を説いた。

16　健康な成人男女は，イスラーム暦９月のラマダーン月の日中，一切の飲食を断たなくてはならない。

17　イスラームでは，アッラーへの信仰を異教徒から守るためにジハードを行うことが義務であり，11世紀末からの十字軍への対応も，その一例と考えられている。

18　ウパニシャッド哲学では，アートマン〔我〕と宇宙原理が同一であることを直感し，それによって永遠性を獲得することが輪廻を脱した境地として追及された。

19　正しい言葉を語ることは，いわゆる「八正道」の中の一つとして，正しい実践の重要な要素と考えられている。また，嘘をつかないことは，殺生をしないことなどとともに，いわゆる「五戒」の中にあげられている。

20　『法句経』は世親〔ヴァスバンドゥ〕の代表的な著作である。一切は心の表象にほかならないとする唯識派の教理を説いている。

21　孔子の考えた「よい生き方」とは，上下の序列にもとづいた秩序を尊重するとともに，己の欲望を制限し身を修めようとする生き方である。

22　孟子は，人間の本質は善であるので，王は徳によって民衆を平等に愛するべきだとする兼愛思想を説いた。

23　老荘思想における「道」は万物の根源であり，天地に先立って生じ，感覚では捉えられず，言葉では表現できないものである。

24　朱子学では，万物は気の運動によって生成し存在することを説く。

25　和辻哲郎によると，砂漠型の風土においては，人々は戦闘と恬淡の態度をもち，モンスーン型の風土においては，人々は対抗と決断の態度をもつ。

26　『古事記』によると，世界は唯一絶対の神を根拠とするのではなく，おのずからなった世界であり，そこに多数の神々が存在している。

27　神仏習合とは，神道と仏教とが重なり合うことを意味し，神道または仏教いずれかが支配的に理解されることもある。

28　末法思想を否定した道元は，ひたすら坐禅に打ち込むという修行こそがそのまま悟りであるとする修証一等を唱えた。

29　山崎闇斎は，心をつつしむ修養の厳格な実践を説き，のちに儒教と日本の神話とを結合させた垂加神道と呼ばれる独自の神道説を唱えた。

30　山鹿素行はその著書で，武士道というものは死ぬことである，と説いた。

31　伊藤仁斎は，『論語』『孟子』の原典に立ちかえることを訴え，真実無偽の心として誠の重要性を主張した。

32　荻生徂徠は，聖人の言葉に直接触れるために古代中国の言語を研究する必要を訴え，のちの国学の方法論にも影響を与えた。

33　本居宣長は，『古事記』を読解し，そこに描かれている神々の事跡から，人間の普遍的な生き方としての道を見いだした。それは惟神の道と呼ばれ，儒教・仏教と同じく，神々に従って素直に生きる身の処し方であった。

34　石田梅岩は，正当な仕方で利益を増やすことが商人にとっての正直であり，商人には，競争相手との駆け引きに勝って，自分の商売が繁盛するように考える競い合いの心が大切であると説いた。

35　安藤昌益は，すべての人々が田畑を耕して衣食住を自給する平等社会を，理想的な「自然世」と呼んだ。そして，自ら耕さず農民に寄生している武士などが存在する当時の差別社会を「法世」と呼び，「自然世」への復帰を説いた。

36　福沢諭吉は，文明の根本にある自立の精神を内に保ち，自らの判断力を養い実理を窮めて文明社会を実現する近代的人間を構想し，育てようとした。

37　中江兆民は，為政者が人民に恵み与えた権利であっても，人民はそれを育てていき，その権利を実質的なものに変えていかなくてはならない，と主張した。

38　夏目漱石は講演『現代日本の開化』の中で，日本の近代化が胚胎した社会的・思想的な諸矛盾を「外発的開化」の語を用いて指摘した。

39　内村鑑三は，キリスト教の信仰にもとづき，日露戦争に際しては，絶対平和主義を主張して，徹底した非戦論を唱えた。

40　西田幾多郎のいう「純粋経験」の例として，「将棋好きのＡさんは，公開対局でプロ棋士の一心不乱に考える姿を見て，会場まで駆けつけた甲斐があったと喜んだ」は，正しい。

41　折口信夫は，古代日本人の心性に奥深く分け入る方法によって「まれびと」としての神と人々との交流を理論化した。

42　吉野作造は，明治憲法の範囲内で民本主義を貫徹させるには，国民の意思がより反映する普通選挙の実施と政党内閣制の実現が望ましいと主張した。

第４講　解答

1	○	2	×	3	×	4	○	5	○	6	○	7	×	8	○
9	×	10	○	11	○	12	×	13	×	14	×	15	○	16	○
17	○	18	○	19	○	20	×	21	○	22	×	23	○	24	○
25	×	26	○	27	×	28	○	29	○	30	×	31	○	32	○
33	×	34	×	35	○	36	○	37	○	38	○	39	○	40	×
41	○	42	○												

〈***Note***〉

第５講　倫理総まくり②

入試にはこう出る！　　西洋近現代思想・現代社会の課題

1　15世紀イタリアの人文主義者ピコ＝デラ＝ミランドラは，人間の尊厳の根拠を，自由な意志によって，自分自身のあり方を決めることができる，という点に見いだした。

2　ルターは，人は信仰によってのみ義とされると説き，内面的で純粋な生き方を勧めた。

3　モラリストのパスカルは，考えることに人間の尊厳を見いだし，特に，人間のあり方や事柄の本質をとらえるためには，推理や論証を行う能力だけではなく，直感的に物事を把握する能力が必要であるとした。

4　イギリス経験論のベーコンは，中世のスコラ哲学に代わる新しい学問を模索し，普遍的真理から出発して自然現象を数学的に説明する方法を提唱した。

5　大陸合理論のデカルトは，無限実体である神から区別された有限実体は，思惟を属性とする精神と，空間的な広がりである延長を属性とする物体から成り，精神と物体は互いに独立に存在すると考えた。。

6　ホッブズ（英）は，自然状態では，人間は互いに孤立したまま生きているが，自己を愛するだけでなく他人への憐みの情をもっていると考えた。

7　ロック（英）は，国家の存在は個々人の意志を超えたものであり，家族と市民社会を統合した最高の人倫形態であるとした。

8　カント（独）は，理性的存在としての人間の内にある道徳法則と，それに従い自律的に行為する人格に認められる価値こそが人間の尊厳であると考えた。

9　ヘーゲル（独）は，責務を担う主体は，この私自身であるから，道徳は自己の実存にかかわる真理の次元で具体的に考える必要がある，とカントを批判した。

10　ベンサム（英）は，人間はもともと利他的であるから，刑罰による法律的な制裁よりも，良心に訴える内的な制裁のほうが重要である，と考えた。

11　マルクス（独）は，世界史とは自由の意識の営みであり，東洋では一人が，ギリシャでは若干の者が自由だったが，ゲルマンはすべての者が自由である，と考えた。

12　デンマークのキルケゴールは，主体的真理を求める実存のあり方の第一段階を，感性的快楽を追い求める美的実存と呼び，その生き方に絶望したとき，第二段階の宗教的実存，さらに最終段階の倫理的実存に目覚めていくと説いた。

13　ニーチェ（独）は，強者を否定し弱者を讃えるキリスト教の道徳は，強者に対する弱者のルサンチマン〔怨み〕から生まれたものであり，それに代わる新しい価値を創造しなければならないと説いた。

14　ハイデッガー（独）は，人間は，誰もが自分の死を引き受けねばならず，死の自覚を介して，初めて本来的な自己のあり方を獲得することができるとした。

15　サルトル（仏）は，ペスト流行という深刻な災難に見舞われたアルジェリアの町を舞台に，絶望的な状況にあっても，不条理な運命に対して人々が連帯・抵抗し，人間として最後まで誠実に生きることの尊さを小説のなかで描き出した。

16　ジェームズ（米）は，真理というものは，自分にとって役立つものであり，個別的・相対的であるとともに条件的なものだと考えた。

17　シュヴァイツァーは，生命は神に通じる神秘的なものであるから，人間を含むすべての生命に対して愛と畏敬の念をもつべきであり，そのことによって倫理の根本原理が与えられると説いた。

18　フロイトは，神経症の治療や夢の研究のなかで，近代の文明の発展を支えてきた人間の理性の奥に，意識的に統御できない無意識の存在を発見し，エス〔イド〕によって本能や衝動が抑圧されるとした。

19　ユングは，個人的無意識と集合的無意識とを区別し，宗教的象徴は，集合的無意識の中に存在する元型〔アーキタイプス〕が意識によってイメージとして把握されたものであるとした。

20　ハーバーマス（独）は，コミュニケーション的合理性により，議論を通じて強制を伴うことなく合意をつくり出すことができると論じ，人と人とのコミュニケーションにおいて働く対話的理性に目を向けた。

21　ウィトゲンシュタインは，言語の理解を超える語りえぬものについては，沈黙せねばならないと考えた。。

22　レヴィ＝ストロースは，いわゆる未開社会の研究を通じて「野生の思考」のうちに自然と文化を調和させる可能性を見いだし，西欧近代文明の思考方法に根本的な反省を迫った。

23　フーコーは，近代以降の西洋文明は，社会の規範から逸脱したものを非理性的な「狂気」として排除し，人間の理性を絶対視してきた。そして，日常的な権力関係を通して，社会に順応する人間を生み出し，人間を規格化してきた，と考えた。

24　ロールズ（米）は，格差が許されるのは，それが公正な競争によって生じ，かつ，最も恵まれない人々の生活の改善につながる場合に限られると主張した。

25　出生前診断によって，男女の判別や産み分けはまだできないが，胎児の障害の有無を知ることが部分的に可能になった。しかし，出生前診断が命の選別や新たな優生思想につながるのではないか，という批判もある。

26　認知症などで本人の意思を確認することが難しい人の場合には，本人の意思を推量するのではなく，医学的判断を優先することが求められる。

27　レイチェル＝カーソンは，農薬など有害な化学物質の大量使用が生態系の破壊へとつながり，やがては人間を含む全生物の死滅へと至ることに警鐘を鳴らした。

28　フロンガスは，人体には直接害を及ぼさないが，間接的に健康被害や環境破壊を引き起こすので，その使用について規制が設けられた。

29　地球温暖化防止京都会議（1997年）では，経済の発展状況にかかわらず，全参加国に対して一律に温室効果ガスの排出削減を求めることが定められ，排出量取引などのメカニズムが認められた。

30　結婚後も旧姓を名乗ることを望む女性が増えたため，夫婦同姓か別姓かを選ぶことのできる選択制が日本で導入された。

31　フェミニズムは，女性の権利拡張を進めるだけでなく，ジェンダーに基づく差別や偏見を問い直している。

32　インターネットが世界を等しく覆ったため，先進国や一部の個人が情報を独占することがなくなり，国や個人の間での情報格差は狭まった。

33　サイードは，近代西洋社会は，東洋を自分たちとは正反対の，後進的で神秘的な他者と見なすことで，自分たちは先進的で文明化されているという自己像をつくり上げてきたと批判した。

34　児童の売買や児童労働は，当事国では問題化しにくいため，国際的な調査とそれにもとづく支援が不可欠である

第５講　解答

1	○	2	○	3	○	4	×	5	○	6	×	7	×	8	○
9	×	10	×	11	×	12	×	13	○	14	○	15	×	16	○
17	○	18	×	19	○	20	○	21	○	22	○	23	○	24	○
25	×	26	○	27	○	28	○	29	×	30	×	31	○	32	×
33	○	34	○												

第６講　倫理確認テスト

1　ドイツの心理学者レヴィンは，青年期をどのように定義したか？

①第二次性徴　②疾風怒濤の時代
③第二の誕生　④マージナル＝マン〔境界人・周辺人〕

2　強制収容所に送られた体験から「生きる意味」について書かれた，オーストリアの精神医学者フランクルの著書とは？

①『エミール』　②『青い鳥』
③『夜と霧』　④『生きがいについて』

3　アリストテレスが時・場所を超えて成り立つと考えた正義は，次のうちどれか？

①全体的正義　②部分的正義　③配分的正義　④調整的〔矯正的〕正義

4　エピクロス派の生活信条とは？

①「万物は流転する〔パンタ・レイ〕」　②「人間はポリス的動物である」
③「隠れて生きよ」　④「自然に従って生きよ」

5　キリスト教における「神の喜ばしい知らせ」を何というか？

①十戒　②律法　③洗礼　④福音

6　イスラームの三大聖地としてふさわしくないものを一つ選べ。

①メッカ　②メディナ　③エルサレム　④ローマ

7　シャカの説いた四法印のうち，「煩悩が消えて自由で安らかな境地」とはどれか？

①一切皆苦　②諸行無常　③諸法無我　④涅槃寂静

8　知行合一を説き，朱子学を批判した思想家とは？

①墨子　②韓非子　③荘子　④王陽明

9　日本文化を考察した，アメリカの文化人類学者ベネディクトの著書とは？

①『夜と霧』 ②『神の国』 ③『菊と刀』 ④『日本道徳論』

10　真言宗で最高仏とされたものは？

①釈迦如来　②薬師如来　③阿弥陀如来　④大日如来

11　以下のうち，心学を創始した石田梅岩の著書を選べ。

①『慎機論』 ②『都鄙問答』 ③『自然真営道』 ④『曽根崎心中』

12　福沢諭吉の著書としてふさわしくないものを一つ選べ。

①『学問のすゝめ』 ②『西洋事情』 ③『文明論之概略』 ④『西国立志編』

13　河上肇の著書を一つ選べ。

①『妻妾論』 ②『人権新説』 ③『貧乏物語』 ④『廿世紀之怪物帝国主義』

14　夏目漱石が晩年に目指した境地とは？

①諦念　②則天去私　③間柄的存在　④まれびと

15　天皇機関説を唱え，大正デモクラシーの理論的支柱となった人物とは？

①石橋湛山　②北一輝　③吉野作造　④美濃部達吉

16 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を著し，資本主義の発展を分析したドイツの社会学者とは？

①ミケランジェロ　②マックス＝ウェーバー　③ルソー　④ヤスパース

17　モンテーニュの言葉を以下から選べ。

①「私は知らないことを知っている」
②「獅子の勇猛さと狐の狡猾さ」
③「ク＝セ＝ジュ〔私は何を知るか〕」
④「人間は考える葦である」

18　ベーコンのいう「四つのイドラ」のうち，性格・身分・教育などにより事物の本性を取り違えてしまうことを何というか？

①種族のイドラ　②洞窟のイドラ　③市場のイドラ　④劇場のイドラ

19　社会進化論を唱えたイギリス人学者とは？

①ベーコン　②ロック　③ダーウィン　④スペンサー

20　ロックは，所有権などを守るため，自然権は政府へ（　）されていると主張した。

①譲渡　②信託　③一体化　④専有

21　ルソーのいう，個人としての私利私欲の総和を何というか？

①全体的正義　②特殊意志　③全体意志　④一般意志

22　弁証法において，正と反を含み統一し，合に向かう作用を何というか？

①テーゼ　②アンチテーゼ　③アウフヘーベン　④ジンテーゼ

23『功利主義』『自由論』を著し，質的功利主義を説いたイギリス人とは？

①ロック　②ヒューム　③ダーウィン　④ジョン＝ステュワート＝ミル

24　コントの「知識の発展の三段階」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①神学的段階　②形而上学的〔哲学的〕段階
③実証的段階　④社会主義的段階

25　ルネサンス期の16世紀前半，『ユートピア』を著して社会主義思想の源流となったイギリス人学者とは？

①トマス＝モア　②ホッブズ　③アダム＝スミス　④ロバート＝オーウェン

26　バーナード＝ショウやウェッブ夫妻が所属した，イギリスのフェビアン協会は，のち何という政党の結成につながったか？

①保守党　②労働党　③自由民主党　④スコットランド国民党

27　デンマークのキルケゴールが，現代において「死に至る病」と定義したものは何か？

①実存　②主体的真理　③絶望　④単独者

28　ニーチェが目指すべきとしたものは何か？

①永久平和〔永遠平和〕　②自由放任主義　③社会革命　④超人

29　サルトルとの契約結婚を生涯続けた『第二の性』の著者とは？

①カミュ　②マーガレット＝ミード
③ボーヴォワール　④ハンナ＝アーレント

30　プラグマティズム〔実用主義〕は，どこの国で生まれた哲学か？

①ギリシャ　②イギリス　③ドイツ　④アメリカ

31「密林の聖者」シュヴァイツァーの象徴でもある，彼の言葉とは？

①非暴力・不服従　②革命いまだ成らず　③力への意志　④生命への畏敬

32　５千人以上のユダヤ人の命を救ったとされる，リトアニア領事代理を務めた日本人とは？

①杉原千畝　②西田幾多郎　③石橋湛山　④緒方貞子

33　ユングのいう，人類に共通する普遍的なイメージや観念の世界を何というか？

①元型〔アーキタイプス〕　②個人的無意識
③エディプスコンプレックス　④エレクトラコンプレックス

34「言語ゲーム」という概念を導入し，分析哲学を創始したイギリスの哲学者とは？

①ベーコン　②ベンサム　③ミル　④ウィトゲンシュタイン

35『オリエンタリズム』を著し，西洋による植民地支配の正当化を批判したアメリカの思想家とは？

①アマーティア＝セン　②デリダ　③サイード　④パース

36　iPS細胞の開発により，ノーベル生理学・医学賞を受賞した京大教授とは？

①湯川秀樹　②江崎玲於奈　③利根川進　④山中伸弥

37　症状や治療内容，今後の治療方針などを十分説明し，患者の理解や同意を得た上で治療行為を進めていくことを何というか？

①リプロダクティブ＝ヘルス＝ライツ　②インフォームド＝コンセント
③ホスピスケア　④アファーマティブ＝アクション

38　「仮想現実」をカタカナで言った用語とはどれか？

①パーソナルコミュニケーション　②テクノクラート
③メディアリテラシー　④バーチャルリアリティ

39　日本の抱える多文化共生への課題としてふさわしくないものを一つ選べ。

①アイヌ問題　②沖縄問題　③在日韓国人・朝鮮人問題　④少子高齢化問題

40　未だ発効していない，1996年に調印された核軍縮系の条約とは？

①部分的核実験禁止条約　②核拡散防止条約
③包括的核実験禁止条約　④化学兵器禁止条約

第６講　解答

1	④	2	③	3	①	4	③	5	④	6	④	7	④	8	④
9	③	10	④	11	②	12	④	13	③	14	②	15	④	16	②
17	③	18	②	19	④	20	②	21	③	22	③	23	④	24	④
25	①	26	②	27	③	28	④	29	③	30	④	31	④	32	①
33	①	34	④	35	③	36	④	37	②	38	④	39	④	40	③

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。